

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-10

＜第37週＞マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向
＜8月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症について



注目すべき感染症
P.11-13

＜RSウイルス感染症＞

第37週の報告数は1,414例であり、2004年以降の同時期の報告数としてはこれまでに最も多い状態が第16週以降継続している



病原体情報
P.14-18

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2011年／麻疹ウイルス 2011年



速報

＜今週は該当記事はありません＞



海外感染症情報
P.19-23

インフルエンザ



感染症の話
P.24

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(37週)
P.25-30



グラフ総覧(8月)
P.31-36



8月のデータ
P.37-39



37週のデータ
P.40-52



発生動向総覧

<第37週コメント> 9月21日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核364例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: 神奈川県

細菌性赤痢13例

菌種: *S. flexneri* (B群) 2例__感染地域: 静岡県1例、鳥取県1例
S. sonnei (D群) 11例__感染地域: 福島県2例、山形県1例*、
千葉県1例、神奈川県1例、大阪府1例、国内(都道府県不
明)2例、中国1例、韓国1例、タイ1例

* 第34週から報告されている同系列の外食チェーン店舗で
起きた食中毒事例の患者

腸管出血性大腸菌感染症81例 (有症者52例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内77例、インドネシア2例、韓国1例、中国1例

国内の多い感染地域: 宮城県12例、福島県7例、埼玉県7例、群
馬県3例、東京都3例、愛知県3例、滋賀県
3例、北海道2例、神奈川県2例、長野県
2例、大阪府2例、山口県2例、佐賀県2例、
鹿児島県2例

年齢群: 1歳(4例)、2歳(1例)、3歳(3例)、4歳(3例)、5歳(1例)、
6歳(2例)、7歳(1例)、8歳(1例)、9歳(2例)、10代(15
例)、20代(13例)、30代(9例)、40代(2例)、50代(9例)、
60代(9例)、70代(3例)、80代(3例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(28例)、O26 VT1(18例)、
O157 VT2(14例)、O103 VT1(4例)、O26 VT1・
VT2(3例)、O74 VT2(2例)、O103 VT不明(2
例)、O157 VT不明(2例)、O91 VT1(1例)、
O111 VT1・VT2(1例)、O111 VT1(1例)、O121
VT2(1例)、その他・不明(4例)

累積報告数: 3,059例(有症者2,118例、うちHUS 86例、死亡13例)

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 北海道__感染源: 不明

A型肝炎1例

感染地域: 福岡県

日本紅斑熱2例

感染地域: 広島県2例、うち1例死亡

日本脳炎1例

感染地域: 長崎県__年齢群: 60代

マラリア1例

原虫種不明__感染地域: ガーナ

レジオネラ症22例 (肺炎型22例、うち2例死亡)

感染地域: 神奈川県5例、群馬県2例(うち1例温泉)、東京都2例、静岡県2例(うち1例温泉)、広島県2例、宮城県1例、新潟県1例、岐阜県1例、愛知県1例、大阪府1例、岡山県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例、中国1例
年齢群: 50代(7例)、60代(7例)、70代(5例)、80代(1例)、90代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢10例 (腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 東京都2例、群馬県1例、石川県1例、岐阜県1例、愛知県1例、国内(都道府県不明)4例
感染経路: 性的接触5例(異性間2例、同性間1例、異性間・同性間不明2例)、その他・不明5例

ウイルス性肝炎1例 B型__感染経路: 性的接触(同性間)

急性脳炎1例 病原体不明__年齢群: 3歳

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型2例
遺伝性プリオン病ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病1例、死亡

劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

年齢群: 60代(1例)、70代(1例、死亡)

後天性免疫不全症候群14例 (AIDS 3例、無症候10例、その他1例)

感染地域: 国内13例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触12例(異性間2例、同性間10例)、不明2例

ジアルジア症1例 感染地域: インド

梅毒9例 (早期顕症II期5例、無症候4例)

破傷風2例 年齢群: 70代(1例)、80代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: *Van C*__菌検出検体: 血液

風しん2例 (検査診断例1例、臨床診断例1例)

感染地域: 広島県1例、鹿児島県1例
年齢群: 10～14歳(1例)、35～39歳(1例)
累積報告数: 316例(検査診断例244例、臨床診断例72例)

麻しん3例 [麻しん(臨床診断例1例、修飾麻しん(検査診断例2例)]

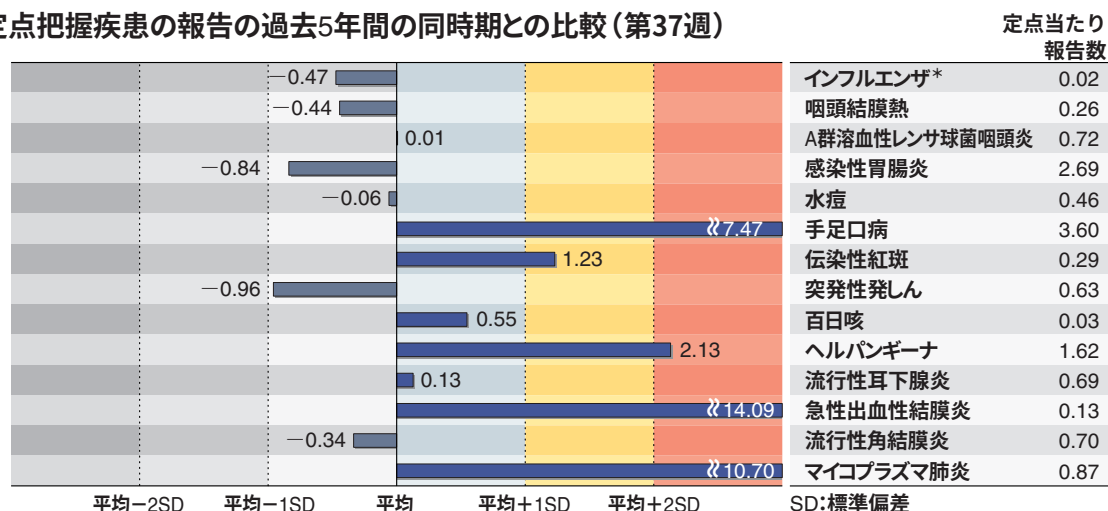
感染地域: 青森県1例、東京都1例、福岡県1例
年齢群: 1歳(1例)、15～19歳(2例)
累積報告数: 397例[麻しん(検査診断例186例、臨床診断例116例)、修飾麻しん(検査診断例95例)]

(補)他に2011年第36週までに診断されたものの報告遅れとして、コレラ1例(感染地域: ウズベキスタン)、細菌性赤痢2例〔菌種: *S. sonnei* (D群) 2例__感染地域: 宮城県1例、中国1例〕、デング熱1例(感染地域: スリランカ)、日本紅斑熱3例(感染地域: 愛媛県2例、和歌山県1例)、ライム病1例(感染地域: 北海道)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第37週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(0.66)、愛媛県(0.31)、茨城県(0.05)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,414例と第30週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では高知県(0.67)、福井県(0.64)、三重県(0.58)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では北海道(1.47)、福井県(1.41)、山口県(1.33)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(5.2)、大分県(4.9)、宮崎県(4.6)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(1.59)、宮崎県(1.28)、長崎県(1.16)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では秋田県(11.5)、宮城県(10.3)、青森県(10.0)、岩手県(8.3)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(0.91)、宮崎県(0.86)、長野県(0.81)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(0.23)、沖縄県(0.18)、香川県(0.13)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県(10.2)、福島県(4.2)、新潟県(4.2)、長野県(4.2)が多い。

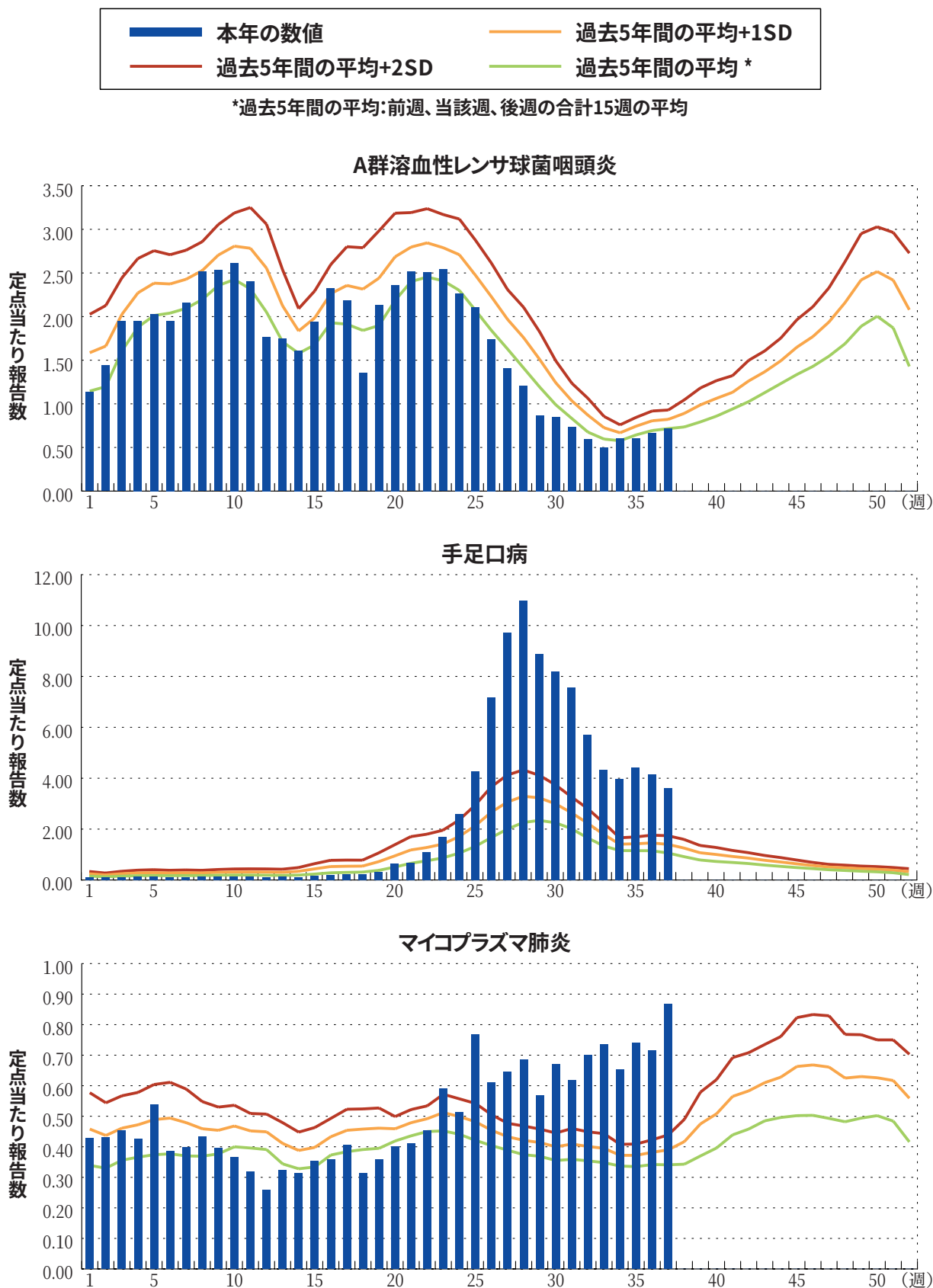
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では愛媛県(2.78)、宮崎県(2.19)、新潟県(1.98)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では青森県(3.67)、埼玉県(2.89)、福島県(2.86)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第37週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



〈8月コメント〉

◆性感染症について(9月13日集計分) 性感染症定点数 967

(産婦人科・産科・婦人科: 469、泌尿器科: 399、皮膚科: 86、性病科: 13)

●月別推移

2011年8月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.40(男1.11、女1.29)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.77(男0.32、女0.45)、尖圭コンジローマが0.50(男0.30、女0.20)、淋菌感染症が1.07(男0.83、女0.24)であった。男性では性器クラミジア感染症、次いで淋菌感染症が多く、女性では性器クラミジア感染症、次いで性器ヘルペスウイルス感染症が多かった(図1)。

前月に比べると、男性では、性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で横ばい、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加した。女性では、4疾患すべてで増加した(31～34ページ「グラフ総覧」参照)。過去5年間の同時期と比較すると、男性では性器クラミジア感染症でやや少なく、女性では淋菌感染症でやや多かった(図2)。

図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(8月)

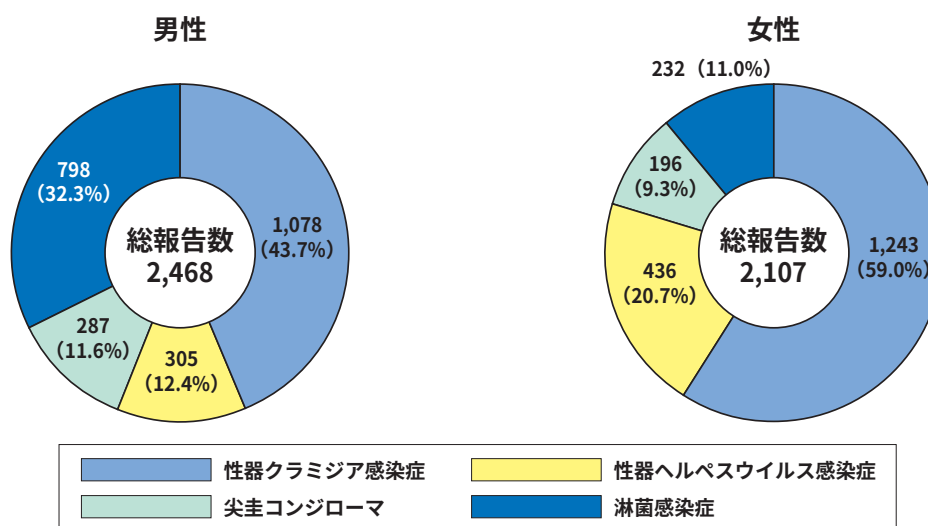
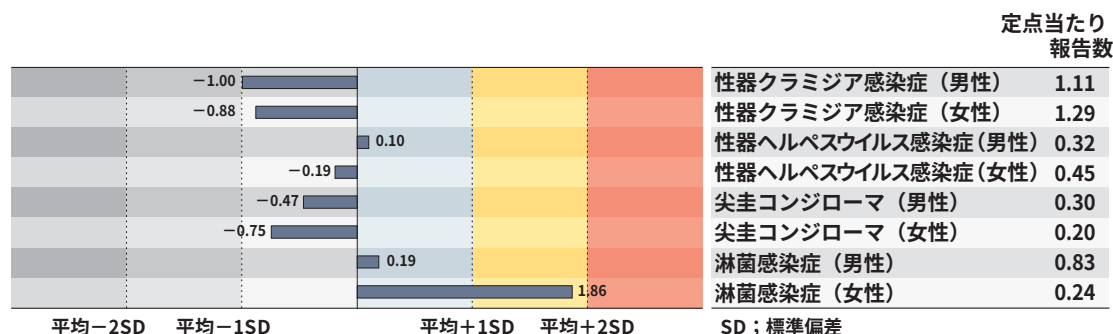


図2. 性感染症の定点当たり報告数の過去5年間の同時期との比較(8月)



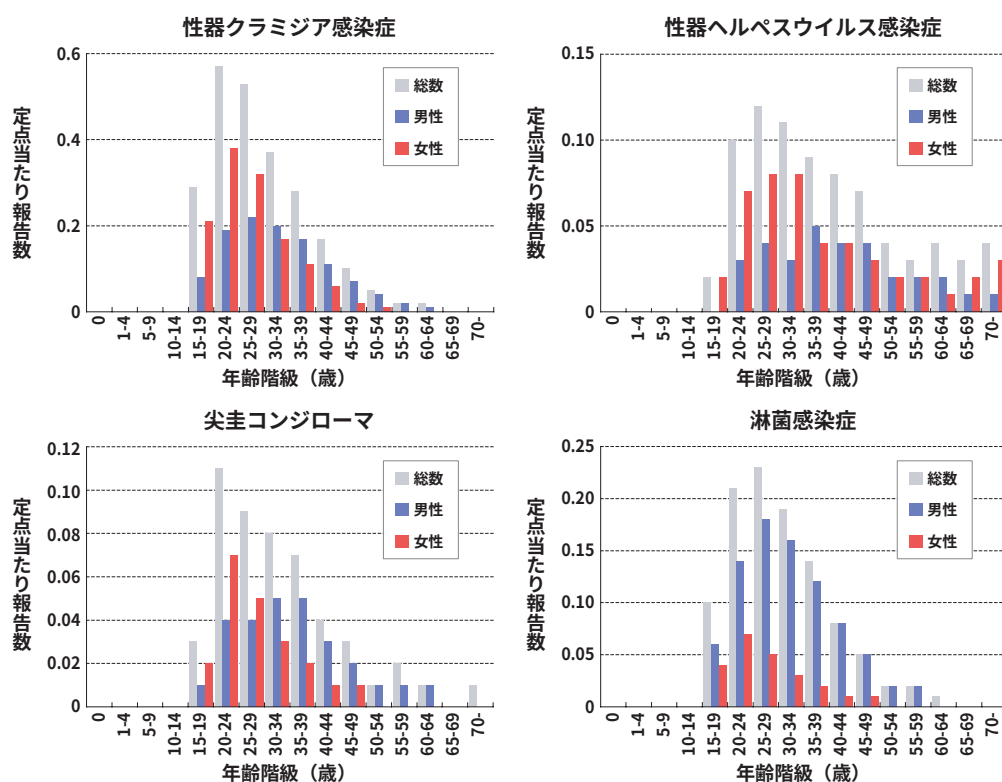
当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフの上に表現した。

●男女別・年齢群別

年齢群別(0歳、1～4歳、5～69歳は5歳毎、および70歳以上)でみた定点当たり報告数のピークは、男性では、性器クラミジア感染症は25～29歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は35～39歳の年齢群、尖圭コンジローマは30～39歳の2つの年齢群、淋菌感染症は25～29歳の年齢群であった。女性では、性器クラミジア感染症は20～24歳の年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症は25～34歳の2つの年齢群、尖圭コンジローマは20～24歳の年齢群、淋菌感染症は20～24歳の年齢群であった(図3)。男女ともに4疾患すべてで15～19歳の年齢群の報告があり、男性では性器ヘルペスウイルス感染症、女性では淋菌感染症で10～14歳の年齢群の報告があった。また、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の3疾患の報告は、男性では60代以上は僅かであり、女性では50代以上は僅かである。しかし、性器ヘルペスウイルス感染症は男女ともに、50代以降の報告も少なくない。この年齢層は再発例が含まれている可能性が以前から指摘されており、2006年4月の届出基準改正により、抗体のみ陽性のものの除外に加えて「明らかな再発例は除外する」ことが明示された。しかし、年齢群分布においての明らかな変化は見られておらず、この基準の周知徹底とともに、遵守されているかの検討なども今後必要と考える。

年齢群毎にみた定点当たり報告数の男女の比較では、性器クラミジア感染症では15～29歳の3つの年齢群、性器ヘルペスウイルス感染症では15～34歳、65～69歳、70歳以上の6つの年齢群、尖圭コンジローマでは15～29歳の3つの年齢群という比較的低い年齢層を中心に女性が男性より多く、他の年齢群は同値あるいは男性が多かった。淋菌感染症ではすべての年齢で男性が女性より多かった。ただし、性感染症定点は泌尿器科系、婦人科系および皮膚科系などの診療科から構成されており、男女の比較については各地域におけるそれらの比率等の影響を受ける可能性がある。

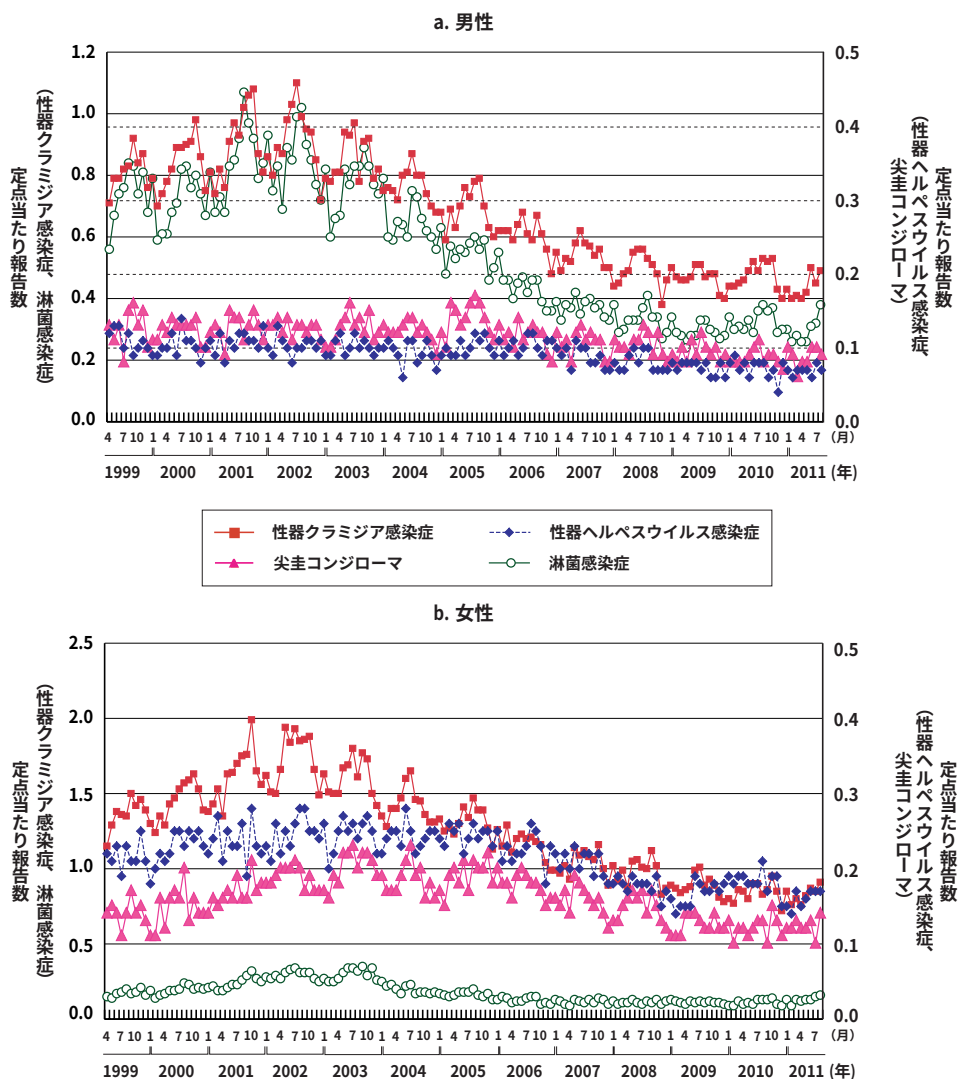
図3. 性感染症の性別・年齢群分布(8月)



●若年層での推移

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年層(15～29歳)における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。性器クラミジア感染症は男性では2003年以降減少傾向がみられた後、2009～2010年はほぼ横ばいで推移したが、2011年は再び減少している。女性では2003年以降減少傾向がみられている。性器ヘルペスウイルス感染症は男性では2007年以降微減傾向がみられた後、2010年はほぼ横ばいであったが、2011年は再び減少している。女性では2006年以降微減傾向がみられたが、2010年にやや増加した後、2011年は再び減少している。尖圭コンジローマは男女共に2006年以降微減傾向がみられたが、男性では2011年は横ばいで、女性では2010年以降はほぼ横ばいで推移している。淋菌感染症は男性では2003年以降減少傾向がみられ、2010年に増加傾向がみられたが、2011年は再び減少している。女性では2004年以降微減傾向がみられた後2007年以降は横ばいで推移していたが、2011年は微増している。前月との比較では、男性では性器クラミジア感染症で増加、ヘルペスウイルス感染症で減少、尖圭コンジローマで減少、淋菌感染症で増加であった。女性では性器クラミジア感染症で増加、性器ヘルペスウイルス感染症で同値、尖圭コンジローマで増加、淋菌感染症で増加であった。

図4. 若年層における性感染症の年別・月別推移
(15～29歳、1999年4月～2011年8月)



◆薬剤耐性菌感染症について(9月13日集計分)

2011年8月の基幹定点総数: 467

●定点当たり報告数

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.60(前月: 4.04、前年同月: 4.62)

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。8月は前月より増加し、過去10年間の同月との比較では上位に属した。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

0.67(前月: 0.68、前年同月: 0.73)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(7～9月)に少なく推移している。8月は前月より減少し、過去10年間の同月との比較では中位に属した。

薬剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

0.10(前月: 0.11、前年同月: 0.13)

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比して多い傾向がある。8月は前月より減少し、過去10年間の同月との比較では下位に属した。

薬剤耐性アシネトバクター(MDRA)感染症

0.01(前月: 0.01、前年同月: ー)

報告数は5例であった。本年2月の報告開始から間もないため、傾向の分析や過去との比較は出来ない。

●年齢階級別

MRSA感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の61%を占めている(図1)。

PRSP感染症…小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の54%を占める一方、70歳以上が全体の24%を占めている(図2)。

MDRP感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の78%を占めている(図3)。

MDRA感染症…5～9歳、50代、60代でそれぞれ1例、70歳以上で2例報告されている(図4)。

●性別(女性を1として算出した男女比)

MRSA感染症…男:女=1.6:1

PRSP感染症…男:女=1.4:1

MDRP感染症…男:女=1.1:1

MDRA感染症…男性2例、女性3例が報告されている。

●都道府県別

MRSA感染症…定点当たり報告数は滋賀県(12.0)、沖縄県(11.0)、新潟県(10.8)が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は千葉県(2.9)、新潟県(2.1)、福井県(2.0)が多い。

MDRP感染症…報告総数が45例にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

MDRA感染症…5例のみの報告であるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難である。

薬剤耐性菌感染症について(8月)

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

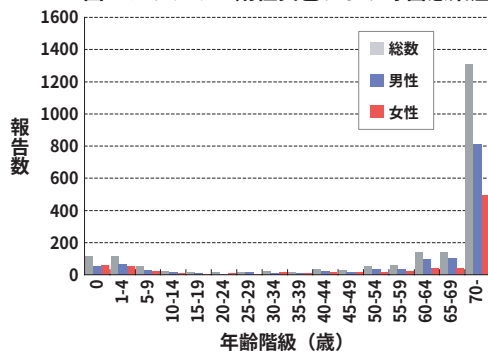


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

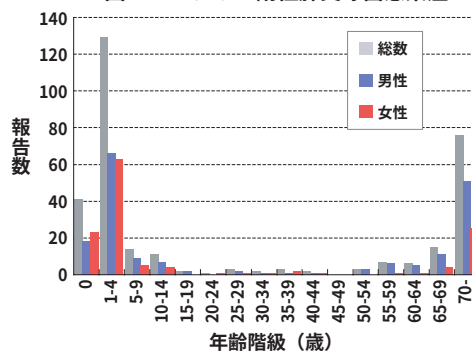


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症

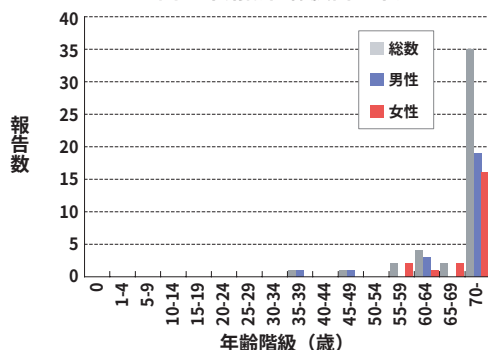
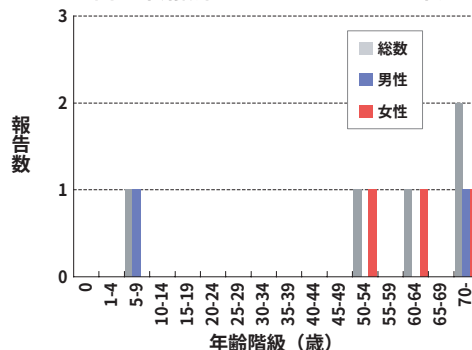


図4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症





注目すべき感染症

◆RSウイルス感染症

RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、病原体であるRSウイルスが伝播することによって発生する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返す、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされているが、乳幼児期においては非常に重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。

潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされているが、発熱、鼻汁などの上気道炎症症状が数日続き、その後下気道症状が出現してくる。咳嗽、鼻汁などの上気道症状が2～3日続いた後、感染が下気道、とくに細気管支に及んだ場合には特徴的な病型である細気管支炎となる。炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従い、呼気性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈する。心肺に基礎疾患を有する児においては、しばしば遷延化、重症化する。喀痰の貯留により無気肺をおこしやすい。発熱は初期症状として普通に見られるが、入院時には38℃以下になるか、消失していることが多い。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、臨床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。合併症として注意すべきものには無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症等がある(IASR 2008年10月号 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/344/tpc344-j.html> 参照)。

予防方法としては、遺伝子組み換え技術を用いて作成された単クローン抗体製剤(Palivizumab: パリビズマブ)が2002年1月に認可されており、早産児や慢性肺疾患を持つ小児などのハイリスク児に対しては、流行前から流行期の間、1カ月毎に予防的な投与が考慮される。

RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染であるが、感染力が強く、また再感染例等で典型的な症状を呈さずにRSウイルス感染と気付かれない軽症例も存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難であるといわれている(出展: Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases 7th edition)。小児の集団生活施設で流行している場合は、RSウイルス感染症と診断された有症状者を隔離(欠席を含む)することに加えて、(1)飛沫感染対策としてはマスクを着用するなどして咳エチケットに努める、(2)接触感染対策としては手洗いもしくは速乾性刷式アルコール製剤による手指消毒剤による手指衛生を励行する、等を職員も含めて全員が実行すべきである。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正(2003年11月5日施行)により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出(中和反応または補体結合反応)による病原検査が必須とされている。しかし、臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、医療保険適用として入院例のみが対象であり、小児科定点医療機関の70%以上を占める病院以外の一般医療機関では診断に至らずに報告されていない症例が少なくないと推察される。従って、発生動向調査によるRSウイルス感染症の報告数は、国内の現状を正確に反映しているとは必ずしも言えない面もあるが、ここ数年その報告数は増加傾向にあり、また最近では外来診療の際にもRSウイルスの迅速抗原検査を実施する小児科医が多くなってきているとの指摘もある。

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続しているが、2011年は第25週から増加傾向が続いている。第37

週の患者報告数は1,414例であり、2004年以降の同時期の報告数としてはこれまでで最も多い状態が第16週以降継続している(図1)。都道府県別の報告数をみると、大阪府(205)、宮崎県(160)、東京都(126)、福岡県(100)、香川県(69)、愛知県(50)の順であり、26都道府県で前週よりも増加がみられている(図2)。

図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況(2003年第45週～2011年第37週)

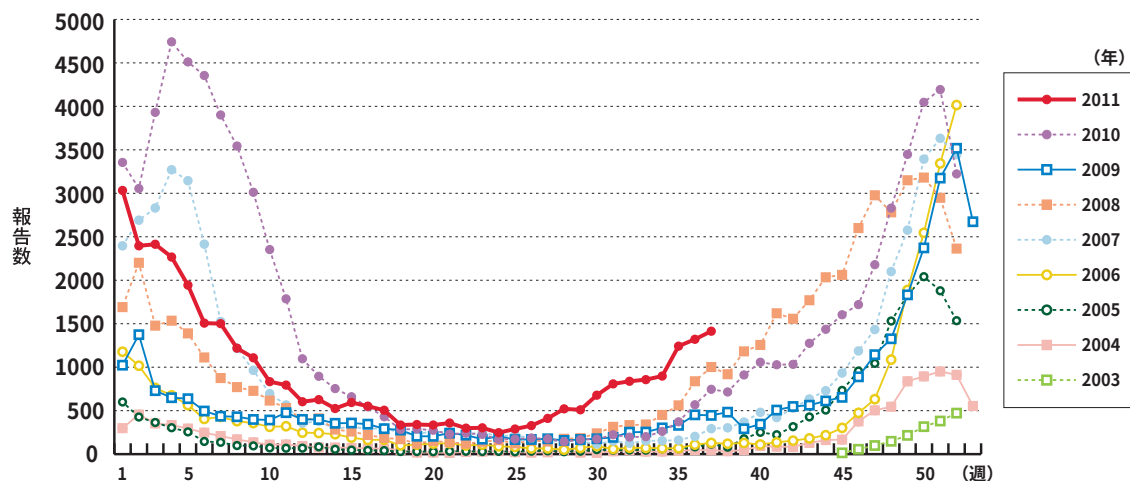
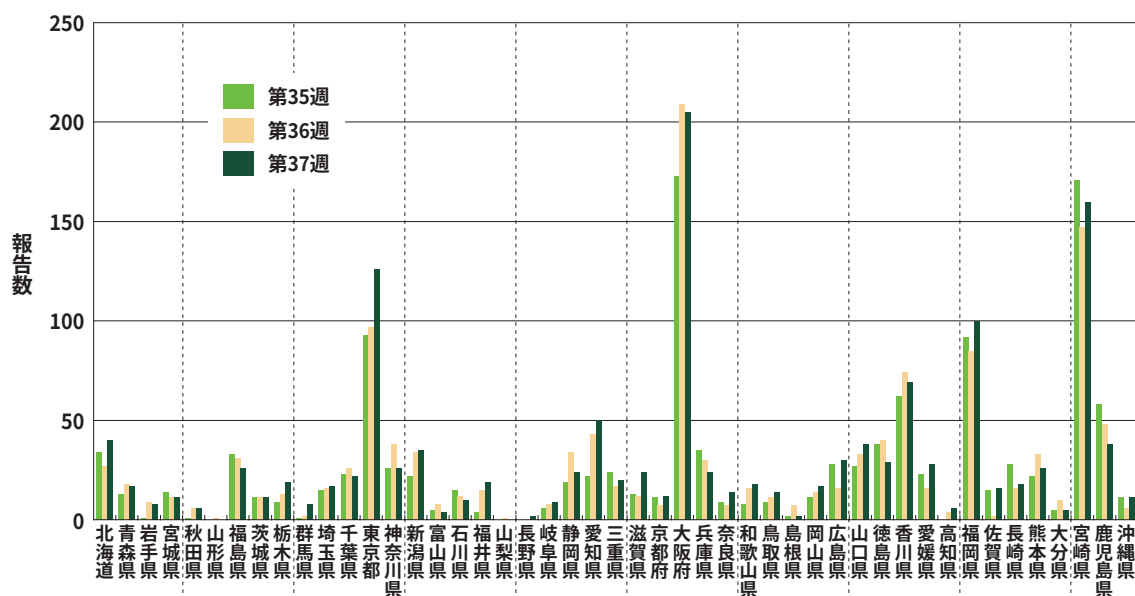
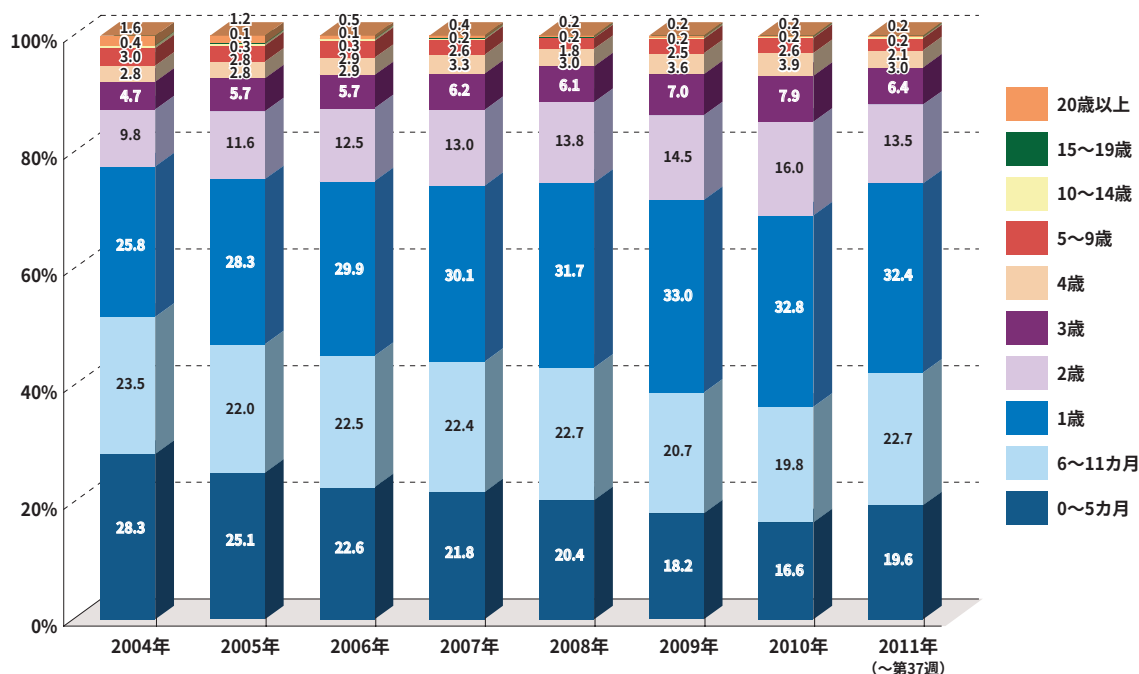


図2. RSウイルス感染症の都道府県別報告数の推移(2011年第35～37週)



2011年第1～37週の累積報告数(34,900)の年齢群別割合をみると、0歳児42.3%(0～5カ月19.6%、6～11カ月22.7%)、1歳児32.4%、2歳児13.5%、3歳児6.4%、4歳児3.0%の順であり、1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わっていない(図3)。

図3. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合(2004年～2011年第37週)



RSウイルス感染症は冬季に最も流行する感染症であり、例年12月か又は翌年の1月にそのピークを迎えている。第37週の報告数は、例年であれば10月中旬から11月下旬に認められる水準であり、今後冬期に向けて更に報告数が増加してくるものと予想される。RSウイルス感染症は、その重篤性や合併症から特に乳幼児において極めて重要な感染症であり、今後の同疾患の報告数の推移についてはより一層の注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

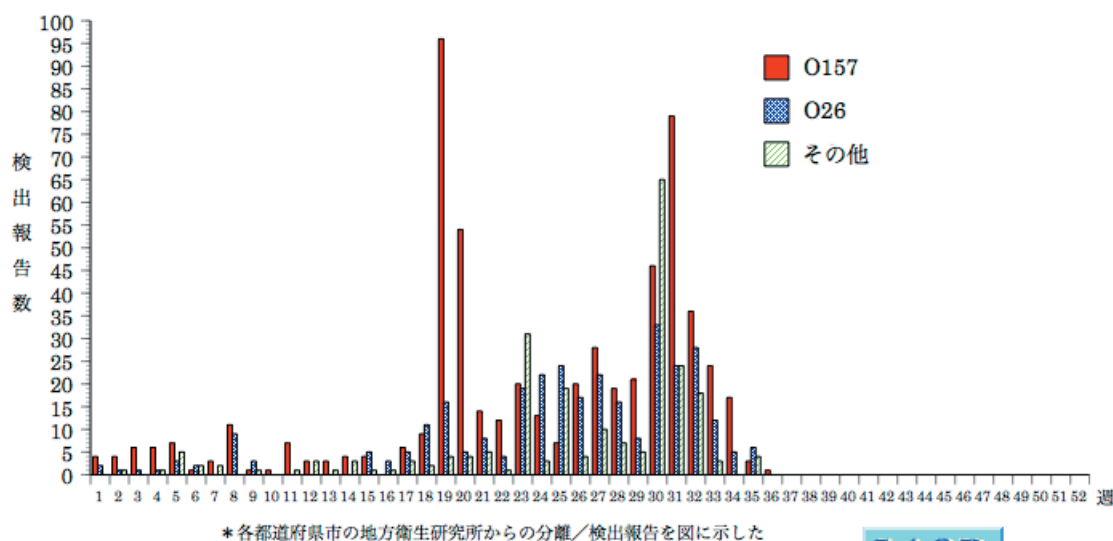
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年9月21日現在報告分)

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2011年

2011年第1～36週までの検出総数は1,139件で、第33週以降に発生した集団発生例からは、第32～33週に富山県(研修宿泊施設)でO26(VT1)が21件検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2011年(病原微生物検出情報: 2011年9月21日現在報告数)



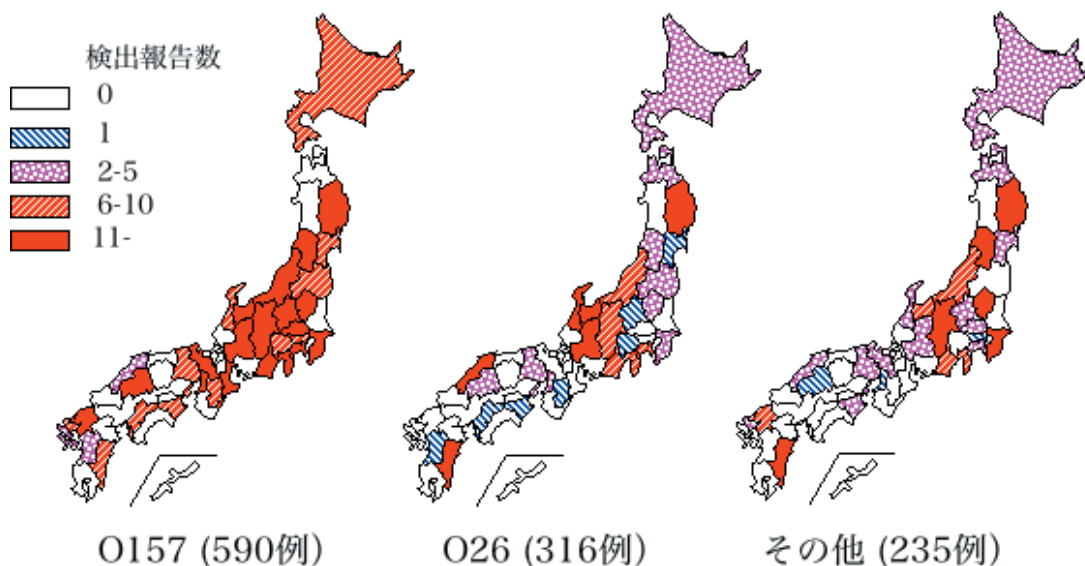
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

2011年1～9月にO157が32都道府県から590件、O26が26道府県から316件、その他の血清型が26都道府県から235件報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2011年

(病原微生物検出情報: 2011年9月21日現在報告数)

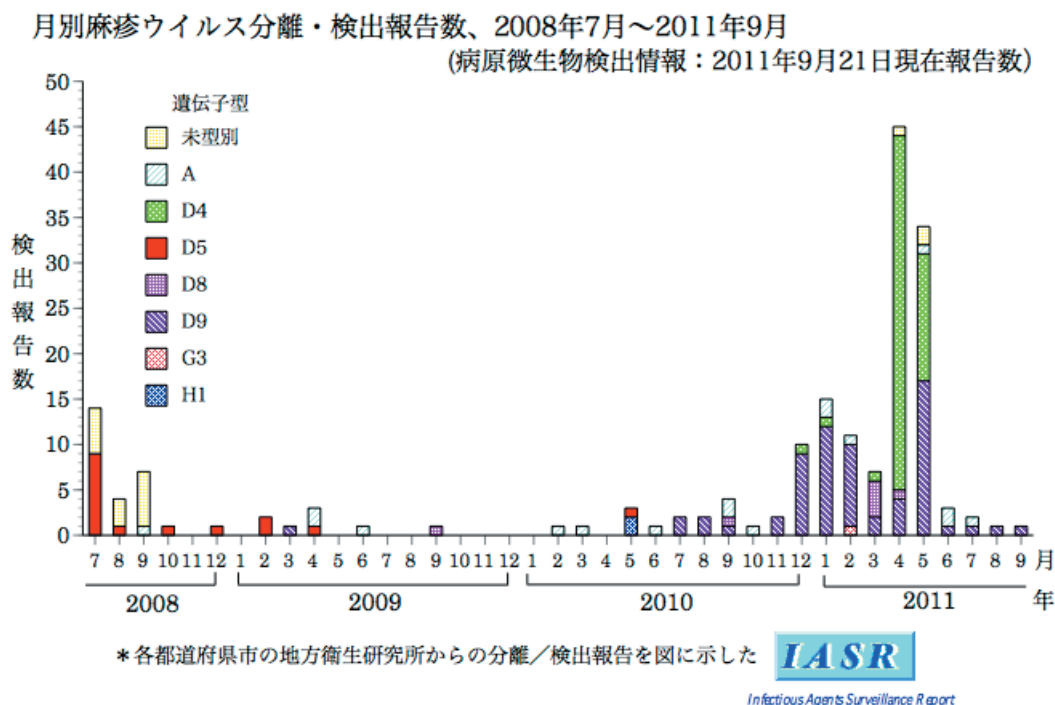


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆麻疹ウイルス 2011年

2011年1～9月に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、香川県、福岡県の14都府県から119件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。



未型別: 4月1件、5月2件、計3件

- ・ 東京都4月1件、5月2件、渡航歴のない散発例から

D4型: 1月1件、3月1件、4月39件、5月14件、計55件

- ・ 東京都1月1件、英国から入国する2日前に発症した患者から
- ・ 大阪府3月1件、フランスから帰国して3日後に発症した患者から
- ・ 東京都4月34件、ドイツ・スイス・フランスから帰国して13日後に発症した患者、フランスから帰国して2日後に発症した患者、フランスから入国して5日後に発症した患者各1例、渡航歴のない散発例30例とその家族1例から
- ・ 神奈川県4月5件、渡航歴のない散発例5例(家族2例を含む)から
- ・ 東京都5月12件、渡航歴のない散発例から
- ・ 兵庫県5月1件、フランスから帰国して8日後に発症した患者から
- ・ 広島県5月1件、渡航歴のない散発例から

D8型: 3月4件、4月1件、計5件

- ・ 広島県3月4件、オーストラリアから帰国して8日後に発症した患者とその家族から
- ・ 東京都4月1件、タイから帰国する5日前に発症した患者から

D9型: 1月12件、2月9件、3月2件、4月4件、5月17件、6月1件、7月1件、8月1件、9月1件、計48件

- ・愛知県1月3件、2010年11月から続いている感染拡大による集団発生例から
- ・東京都1月2件、シンガポール・スリランカから帰国する3日前に発症した患者とフィリピンから帰国して9日後に発症した患者から
- ・東京都2月2件、3月2件、渡航歴のない散发例から
- ・埼玉県2月1件、渡航歴のない散发例から
- ・神奈川県1～2月2件、フィリピンから帰国して7日後に発症した患者とその家族から
- ・岡山県1月1件、フィリピンから帰国して8日後に発症した患者から
- ・広島県1月5件、2月4件、フィリピンから帰国した翌日に発症した患者1例とその周囲への感染拡大による集団発生例6例、および地域の散发例2例から
- ・香川県2月1件、広島県で感染したと推定される患者から
- ・大阪府4月1件、カンボジアから入国した日に発症した患者から
- ・広島県4月1件、渡航歴のない散发例から
- ・東京都4月2件、フィリピンから帰国して4日後に発症した患者とグルジアから帰国後発症した患者から
- ・東京都5月13件、渡航歴のない散发例12例とインドネシアから帰国して8日後に発症した患者1例から
- ・千葉県5月4件、渡航歴のない散发例から
- ・静岡県6月1件、フィリピンから帰国した患者から
- ・兵庫県7月1件、フィリピンから帰国後に発症した患者から
- ・愛知県8月1件、タイ・インドネシアから帰国して10日後に発症した患者から
- ・新潟県9月1件、マレーシアから入国する3日前に発症した患者から

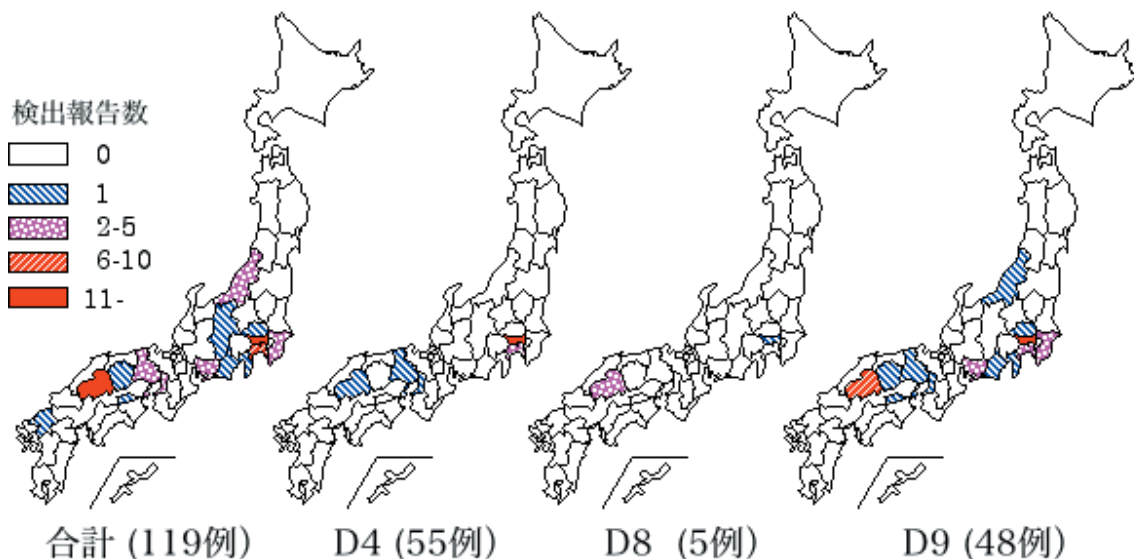
G3型: 2月千葉県1件、インドネシアから帰国して10日後に発症した患者から

A型(ワクチンタイプ): 1月2件、2月1件、5月1件、6月2件、7月1件、計7件

- ・東京都1月1件、発疹症患者、ワクチン接種13日後に採取された検体から
- ・福岡県1月1件、麻疹疑い患者、ワクチン接種10日後に採取された検体から
- ・新潟県2月1件、麻疹疑い患者、ワクチン接種14日後に採取された検体から
- ・長野県5月1件、麻疹疑い患者、ワクチン接種9日後に採取された検体から
- ・東京都6月2件、麻疹疑い患者、ワクチン接種9日後に採取された検体から、発疹症患者、ワクチン接種後に採取された検体から
- ・東京都7月1件、上気道炎患者、ワクチン接種13日後に採取された検体から

都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2011年

(病原微生物検出情報: 2011年9月21日現在報告数)



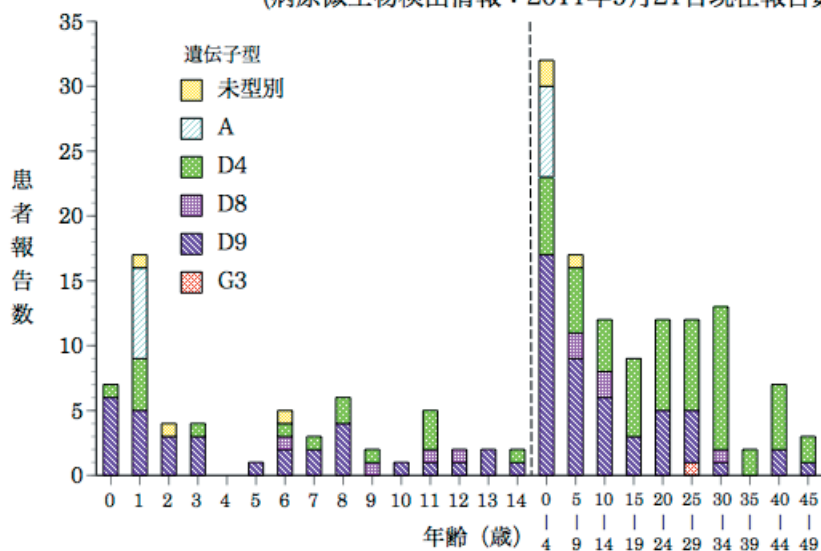
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス分離・検出例の年齢分布、2011年1月～9月

(病原微生物検出情報: 2011年9月21日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス検出例の年齢は1歳をピークに0～4歳が最も多いが、20～40代の成人が41%を占めており、子供も成人も麻疹に注意が必要である。

麻疹ウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/measles.html> を参照ください。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

●インフルエンザ

2011年9月9日—更新142

【要約】

- ・北半球の温帯地域諸国は、インフルエンザの活動性が低い、検知されていないレベルである。アメリカ合衆国(USA)は最近、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009由来のM遺伝子を持つ、遺伝子再集合による新しいブタインフルエンザウイルスA(H3N2)による4例のヒト症例を報告した。
- ・熱帯地域諸国ではアメリカ大陸(キューバとホンジュラス)、西アフリカ(カメルーンとセネガル)、南アジア(バングラデシュとタイ)などでは感染伝播持続の報告があったが、それ以外の大部分の国ではインフルエンザの活動性は低かった。
- ・南アメリカでは、それぞれの国で循環しているウイルスの型や亜型は異なるが、インフルエンザシーズンの発生状況は穏やかで、ピークを迎えている。オーストラリアでは、国全体としてのインフルエンザの活動性はピークを迎えたと考えられるが、局地的な活動性の増加はまだ報告されている。オーストラリアのニューサウスウェールズ州では最近、オセルタミビル耐性A(H1N1)2009感染による25例の集団発生の報告があった。症例は地理的に限定された地域での発生だったが、3カ月間持続した。特記すべきこととしては、調査された症例のいずれも、以前にオセルタミビルへの曝露がなく、またオセルタミビル耐性と関連した他の危険因子もなかった。これは、オセルタミビル耐性ウイルスによる今までで最も大きなクラスターであり、地域内での感染が最も長く持続したものである。ウイルスの拡散状況を特定するための調査が継続中である。

【北半球温帯地域諸国】

北半球温帯地域諸国は、インフルエンザの流行間期である。この地域のほぼすべての国では、インフルエンザ活動性は最も低い、またはほとんど報告されていない。特記すべきことは、米国疾病対策センター(USA Centers for Disease Control and Prevention: CDC)が、インディアナ州(1例)とペンシルバニア州(3例)で、ブタA(H3N2)による4人の小児症例を報告した。このウイルスは、1998年以降、ブタで循環しており、以前に8人のヒトの症例で確認されているものに類似している。ウイルスゲノムは、8本の遺伝子分節中7本はブタA(H3N2)由来で、ヘマグルチニンとノイラミニダーゼ遺伝子が含まれるが、A(H1N1)2009の1つの遺伝子分節(M遺伝子)が、含まれているという点が特徴である。ブタA(H3N2)は、1990年代に流行していたヒトA(H3N2)と抗原交差反応性を持っている。インディアナ州の症例は、ブタへの直接の曝露を持たなかったが、直近にブタとの接触があった介護者とは接触していた。ペンシルバニア州の3つの事例はすべて、直近に、ブタが展示された農業祭を訪れていた。ウイルスは、ヒト-ヒト間で広がってはいないようだが、調査は現在進行中である。

【熱帯地域諸国】

中米及び熱帯の南アメリカでは、数カ国で低いレベルのインフルエンザの流行が報告されている。ドミニカ共和国では、インフルエンザウイルスB型による7月の流行のピークから減少傾向にある。キューバでは、過去4週を通してインフルエンザは確実に増加し、ほとんどがA(H3N2)である。ホンジュラスでも、同時期にA(H3N2)の増加が報告されており、重症急性呼吸器感染

症(SARI)による入院患者の割合も増加し、2010年の同時期より高くなっている。ここ2週間で、1件のSARI関連死亡が報告された。他の中米諸国では、インフルエンザの活動性はないか非常に小さいと報告されている。南アメリカの熱帯地域では、ブラジルでの流行は6月下旬または7月上旬にピークに達しており、現在は低レベルに戻っている。ブラジルではA(H1N1)2009とA(H3N2)が同じくらいの割合で流行しており、B型はより少なかった。ボリビアとコロンビアでも同様の傾向である。

アジア熱帯地域の大部分の国でのインフルエンザの活動性は、現在、低くなっている。南アジアでは、インド、バングラデシュ、タイとシンガポールで中等度の流行が報告されている。そのほとんどは、A(H3N2)でB型がごく少数混合している。これらの国での流行は、7月中旬にピークに達したように見えるが、低レベルの流行がまだ持続しているところもある。東南アジアでは、ベトナムとカンボジアでインフルエンザA(H1N1)2009とB型の混合感染が起こっている。両国とも流行は8月上旬から減少している。特に、重症ウイルス性肺炎監視システム(severe viral pneumonia surveillance system)では、27件(検査総数の27%)がインフルエンザウイルス陽性であった。陽性27件中、26件(96%)はA(H1N1)2009で、1件(4%)はB型であった。

サハラ以南のアフリカでは、西側でインフルエンザの流行が続いているが、ウイルス検出率はガーナとトーゴで7月中旬のピークから減少している。しかし、カメルーンの流行はここ数週間増加し続けている。これらの3カ国では全て、A(H1N1)2009とB型の検出割合はほとんど同じであった。東アフリカでは、ケニアの流行は3月のピークから持続しているが、非常に低いレベルである。検出されたウイルスは、A(H1N1)2009とB型であった。

【南半球温帯地域諸国】

・南アメリカ地域

南アメリカのインフルエンザシーズンはピークに達したようである。いくつかの指標によると、流行は前の年と比較すると穏やかであったことが示唆される。チリでは、インフルエンザ様疾患(ILI)の活動性は前年に比べて低いままで、受診数は人口十万人当たり7人であった。小児の呼吸器感染症による入院数とインフルエンザ陽性の検体数もまた低いままであるが、A(H1N1)2009に関連する2件の死亡がここ2週間に登録された。今シーズンのチリでは、A(H1N1)2009が、ILIとSARIの両方の事例の大多数を占めていた。チリでのウイルス検出と呼吸器疾患の活動性は、8月中旬に横ばいになったようである。アルゼンチンでのILI、肺炎患者数とインフルエンザウイルス検出はすべて、アルゼンチンの方がチリより3～4週早くピークに達した。これら3項目はすべて、過去5年の全国平均と比較すると、中等度のレベルであった。チリとは対照的に、アルゼンチンでは流行初期はA(H1N1)2009が優勢であったが、7月下旬の流行中期までにA(H3N2)へ移行し、その後はA(H1N1)2009はほとんど検出されなかった。ウルグアイでは、呼吸器疾患の活動性は、7月下旬もしくは8月上旬に横ばいになったようである。SARIによる入院及びICU入室の割合はそれぞれ5%未満と15%未満であった。そして、SARIによる死亡者の割合は2%未満に減少した。ウルグアイで検出されたウイルスの大部分はA(H1N1)2009で、流行初期は、少数のA(H3N2)が検出された。

・アフリカ南部地域

南アフリカ共和国のインフルエンザの流行は、6月上旬にピークに達してから低レベルのままである。

・ オーストラリア、ニュージーランド及び南太平洋諸国

ニューサウスウェールズ州のニューカッスル地域で、オセルタミビル耐性A (H1N1) 2009に感染した異常なインフルエンザ症例の一群が報告された。3カ月間に25件のインフルエンザ症例が確認された。ウイルスは全て高度のオセルタミビル耐性を惹起するH275Y変異を持っている。その一方で、今年はこれまでに、オセルタミビル耐性の遺伝子を持つウイルスは、国内で2件しか報告されていなかった。1月に1件、3月に1件である。今回の最初の耐性ウイルスは、5月にニューカッスル地域で検出され、直近は8月で、この間にニューカッスルから提出されたウイルスの14%はH275Y変異を持っていた。調査された16症例にオセルタミビルの曝露や治療歴があったものではなく、16例中15例は半径50キロメートル圏内に住んでいた。疫学的所見は、今のところ、地理的に限られた範囲における耐性ウイルスによる局地的な流行の一つである。特記すべきことは、耐性ウイルスのすべてが、現在の季節性インフルエンザ3価ワクチンに含まれるA (H1N1) 2009株と抗原的に類似しており、予防接種が予防になることを示唆している。ニューサウスウェールズ州保健健康局は調査を続けている。

全体として、インフルエンザ活動は国の大部分でピークに達したように見えるが、局地的な活動性の増加がまだ若干の地域で報告されている。具体的には、インフルエンザの届出はクイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州と南オーストラリア州で減少したが、他の州では増加の報告が続いている。ビクトリア州、南オーストラリア州、西オーストラリア州とオーストラリア首都地域 (ACT) のインフルエンザ合併症警報ネットワーク定点病院システム (Influenza Complications Alert Network sentinel hospital system) は、88例の入院を報告し、その中には、2011年5月1日から7例のICU入室が含まれている。入院患者の半数以上と集中治療室 (ICU) 入室の71%は、A (H1N1) 2009の感染に伴っていた。入院患者の平均年齢は47.3歳だった。オーストラリアの小児科サーベイランスユニット (Australian Paediatric Surveillance Unit) は7月1日～8月22日に、重症のインフルエンザ合併症に関連した24例の入院を報告した。そこには、ICUに入室した9例が含まれており、そのほとんどがA (H1N1) 2009の感染であった。特記すべきことは、入院患者の3分の1以上に慢性基礎疾患があったことである。2011年にこれまで、全国から11例のインフルエンザ関連死亡が届け出され、年齢の中央値は53歳であった。8例はA (H1N1) 2009の感染で、2例はB型、1例はA型で亜型不明であった。ニューサウスウェールズ州での2011年8月5日までの肺炎またはインフルエンザに関連した死亡は人口10万人当たり1.8人と、季節性閾値以下であった。オーストラリアでは、検出されるウイルスの型及び亜型に若干の地域差がある。ここ数週間は、南オーストラリア州ではB型の割合が下がり続けているが、現在インフルエンザの報告の43%を占めており、残りの大部分はA (H1N1) 2009である。大部分のオーストラリアの州や領土では、現在、A (H1N1) 2009が最も多く検出され、B型も混合している。タスマニアではB型が検出されるインフルエンザのほとんどを占めており、西オーストラリア州ではA (H1N1) 2009、A (H3N2) と若干のB型の混合が報告されている。

ニュージーランドでは、全国のILI受診者の割合は10万人当たり55.5人 (ILI受診数210) で、季節性閾値のあたりにとどまっている。ニュージーランドで検出される大多数のインフルエンザウイルスはB型である。太平洋諸国では、サモア、トンガ、ソロモン諸島とキリバスを除いて、大部分の国のインフルエンザ活動性は低いことが報告されている。サモアではILIが増加し、トンガ、ソロモン諸島とキリバスは、活動性が持続していると報告された。フィジーではILIの活動性が変動しているが、そのレベルは過去5週間にわたって減少している。

【査読された(信頼できる)文献から】

中国の研究者は呼吸器疾患とナルコレプシーの関連について報告している。1998～2010年の間の北京におけるナルコレプシーと診断された629例(ほとんどが小児)においてナルコレプシーの発症の経過を調査した横断的後方視的生態学的研究において、4～7月にピークとなる発症の季節性を確認した。2010年にはこのピークの罹患率は過去の3倍から4倍となり、2009-2010冬季シーズンのインフルエンザ報告数の増加と一致している。2010年の154例のナルコレプシー症例のほとんどは幼弱小児で、H1N1ワクチン(アジュバント無しのH1N1単味ワクチン)を受けていたのはこれらの4%のみであった。彼らの報告はナルコレプシーと感染の関連性であって、ワクチンとの関連性ではない。著者らはインフルエンザA型あるいは化膿性連鎖球菌を含む冬季の呼吸器感染症がナルコレプシーの引き金になるかもしれないことを示唆している。著者らは冬季の呼吸器感染症とナルコレプシーの発症の時間差が4～6カ月であり、これは約80%の細胞の消失によって症状がでるという動物実験結果と符合していると考えている。つまり、冬季の呼吸器感染症は、一般的な意味での感受性のある個体におけるヒポクレチン(hypocretin)産生細胞の消失とナルコレプシーを誘導するような免疫反応を惹起あるいは再活性化しうるのではないかと感じている。

コメント: インフルエンザは一義的には気道の疾患であるが、時に中枢神経のような他の部位にも疾病をおこすことが知られている。冬季の呼吸器感染症と神経学的合併症との関連については、1918年のパンデミックの際にも気づかれているし、季節性A(H3N2)の流行や2009-2010シーズンのA(H1N1)2009パンデミックの際にも神経学的合併症は多く報告されている。インフルエンザウイルス感染症は脳症、痙攣、そして意識レベル低下などに関連しており、神経学的な症状は時にインフルエンザ自体の症状としても見られ、特に小児や思春期にしばしばみられるものである。

参考: Han, F., et al. Narcolepsy onset is seasonal and increased following the 2009 H1N1 pandemic in China, 2011, *Annals of Neurology*. doi: 10.1002/ana.22587 (2011).

【ウイルス学的サマリー】

第33～34週(2011年8月14～27日まで)において検査室で検出されたインフルエンザウイルス数は、南半球のほとんどの国々で減少し続けている。北半球ではインフルエンザの活動性は低下したままである。

オーストラリアでは、インフルエンザ活動性は低レベルで、増加した地域ではA(H1N1)2009とB型が混合で循環している。オーストラリアのニューサウスウェールズ州では、NA領域にH275Yの変異があるオセルタミビル耐性A(H1N1)2009が25件報告された。

アフリカでは、温帯地域で、A(H1N1)2009とB型の散発例が報告された国もあり、アフリカ南部の一部では、A(H1N1)2009とA(H3N2)が非常に低いレベルで検出されている。

南アメリカでは、キューバでわずかな増加が観察されたこと以外は、概してA(H3N2)の活動性は低下している。南アメリカの数カ国は、インフルエンザウイルスの検出報告がなかった。

アメリカ合衆国では、インディアナ州とペンシルバニア州の小児で4例のブタ由来インフルエンザ(swine origin influenza: SOI) A(H3N2)が報告された。これらのウイルスは、ブタ由来の遺伝子3重集合体(triple reassortant)のA(H3N2)で、ヒトA(H1N1)2009からのM遺伝子を持っている

る。抗原的に互いに類似していて、以前に米国でヒトの症例から分離されたSOIウイルスと類似している。さらなる調査が進行中である。

WHOのグローバルインフルエンザサーベイランス・レスポンスシステム(WHO Global Influenza Surveillance and Response System: GISRS)で解析された最近のウイルスの大部分は、依然として、WHOが推奨した北半球における2010-2011シーズン、南半球における2011シーズンのワクチン株と抗原的に類似している。

第33～34週(2011年8月14～27日)において、68の国と地域の国家インフルエンザセンター(National Influenza Centres: NIC)がFluNetに報告したインフルエンザウイルス陽性検体1,008のうち736(73%)がA型、272(27%)がB型で、亜型別されたA型のうち、50.2%がA(H1N1)2009、49.7%がインフルエンザA型(H3N2)であった。



感染症の話

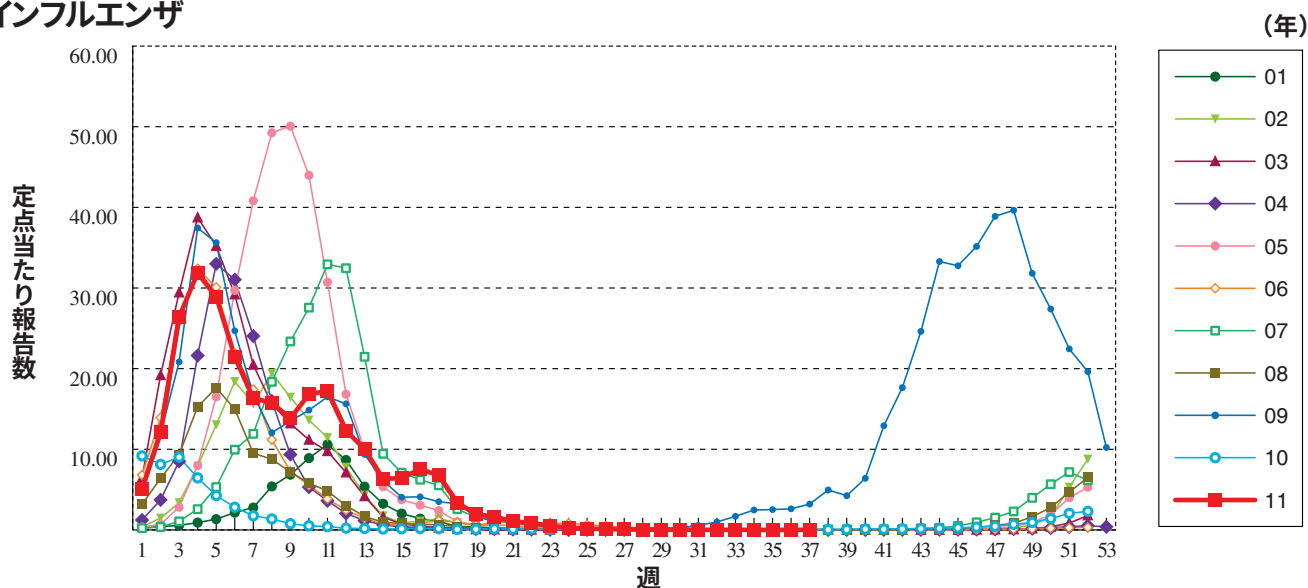
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

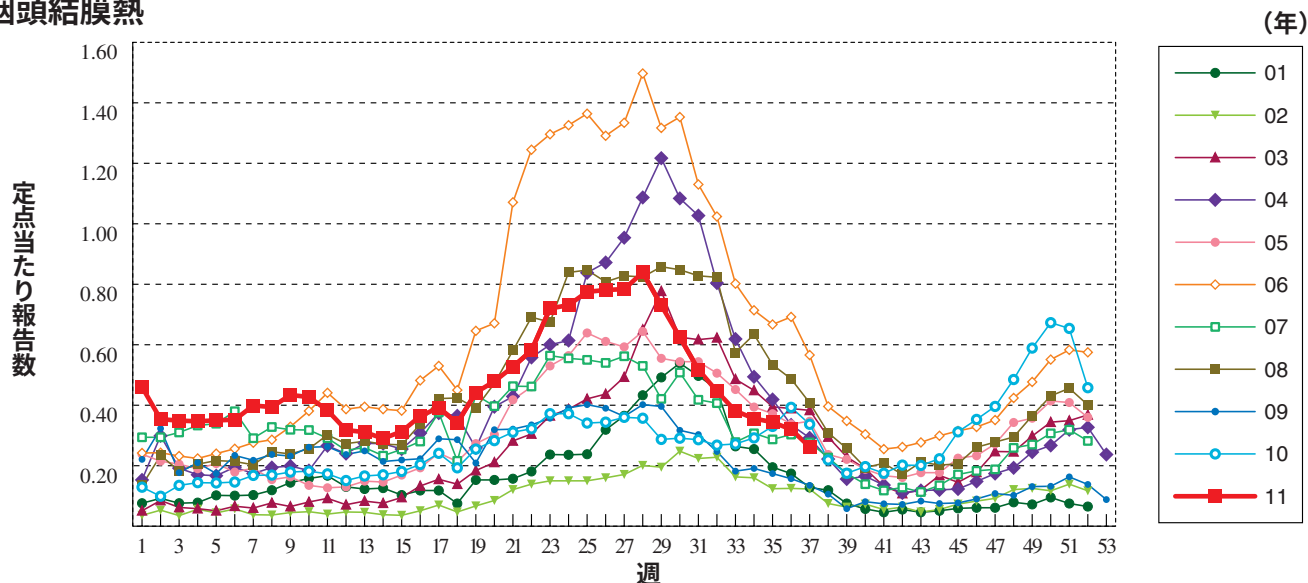


グラフ総覧(37週)

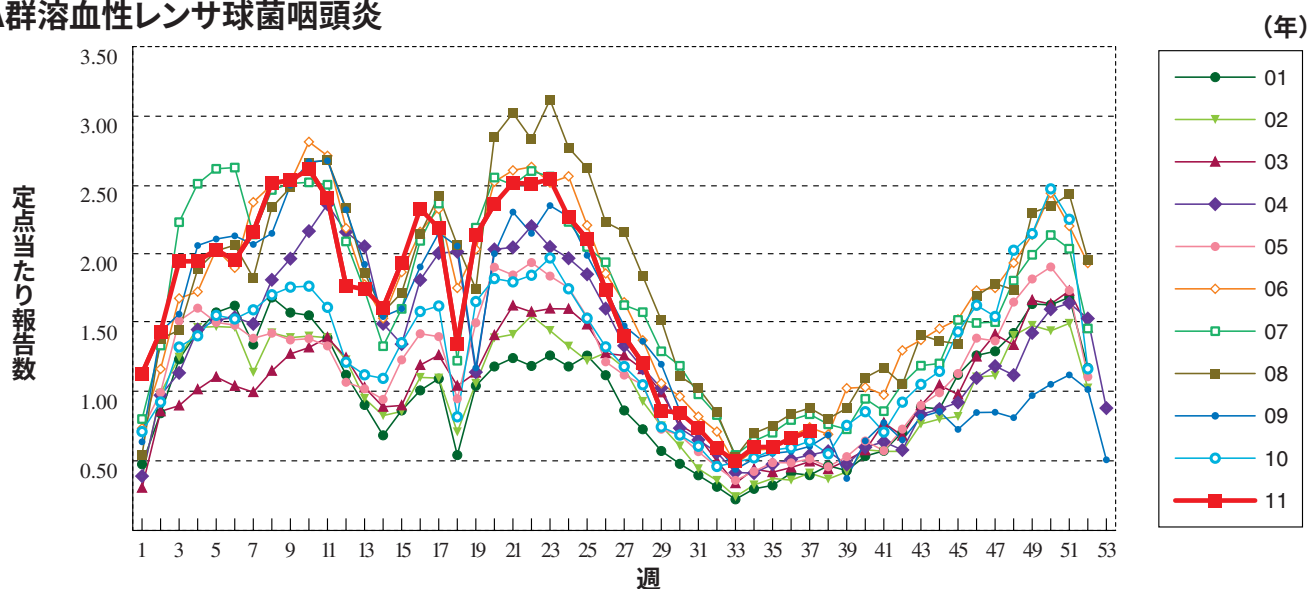
インフルエンザ



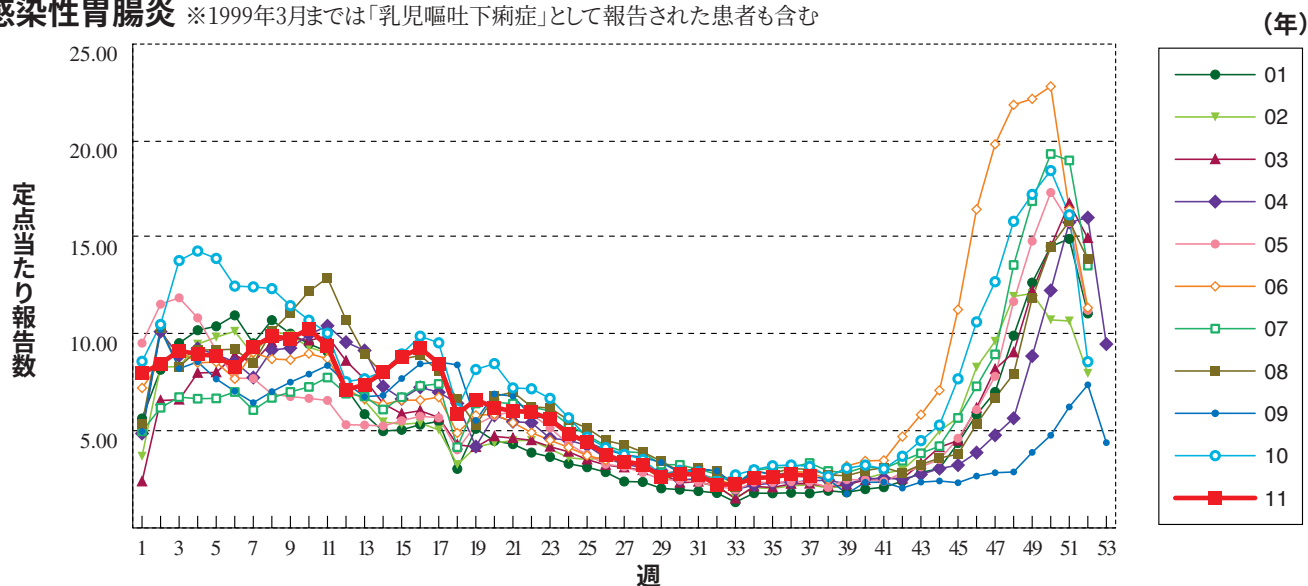
咽頭結膜熱



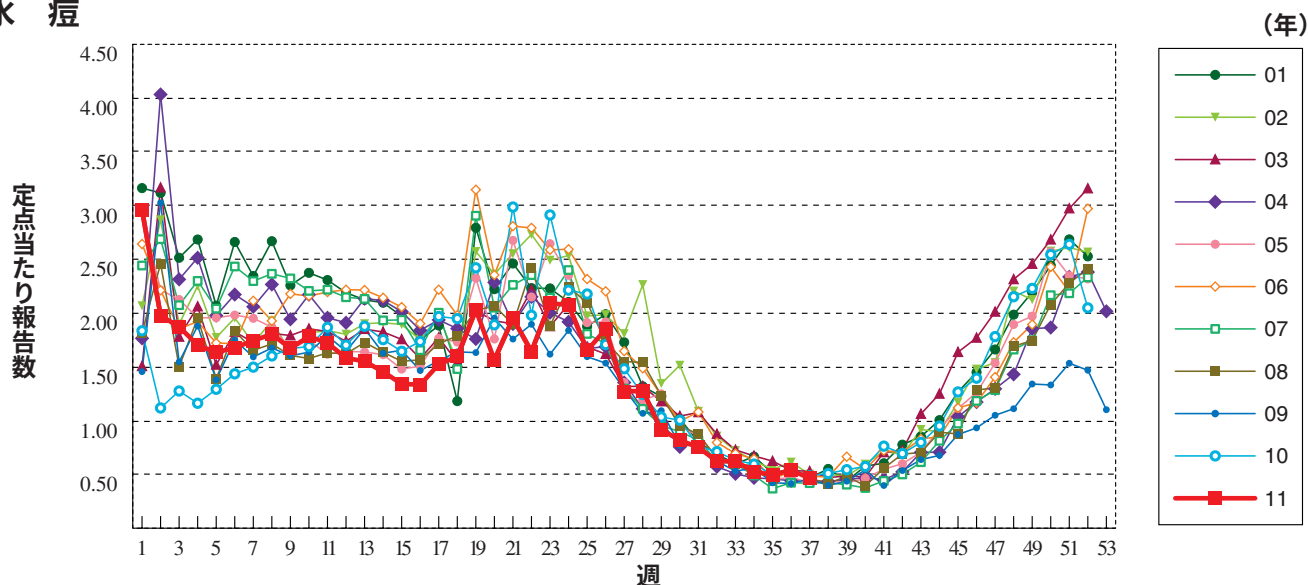
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



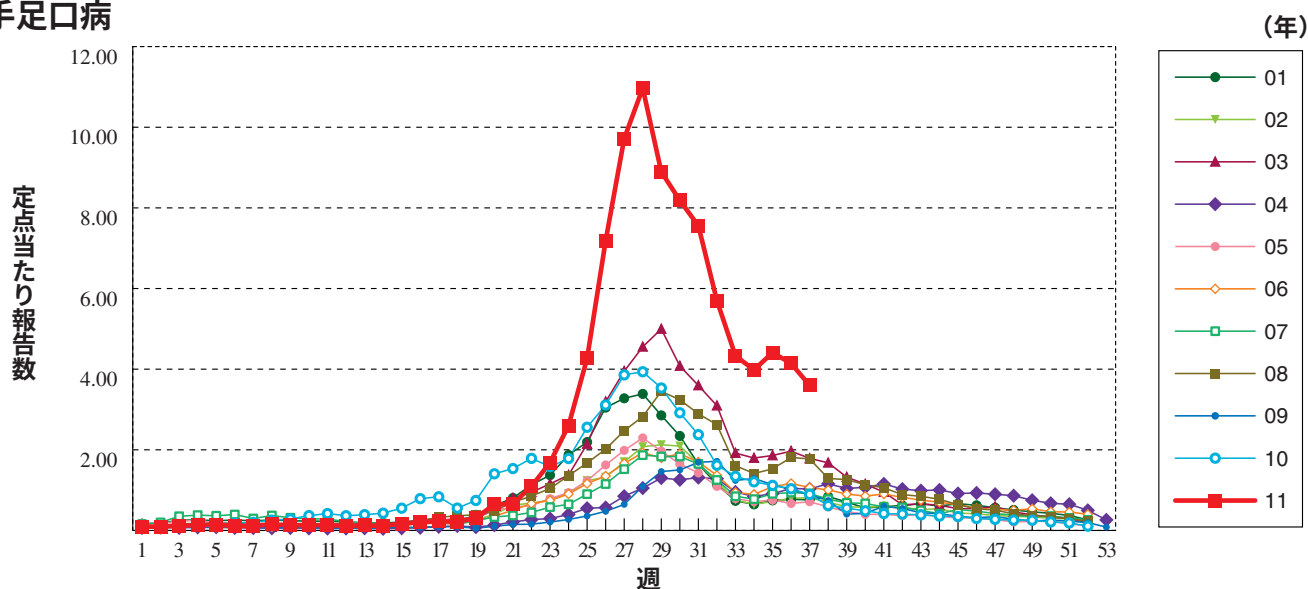
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



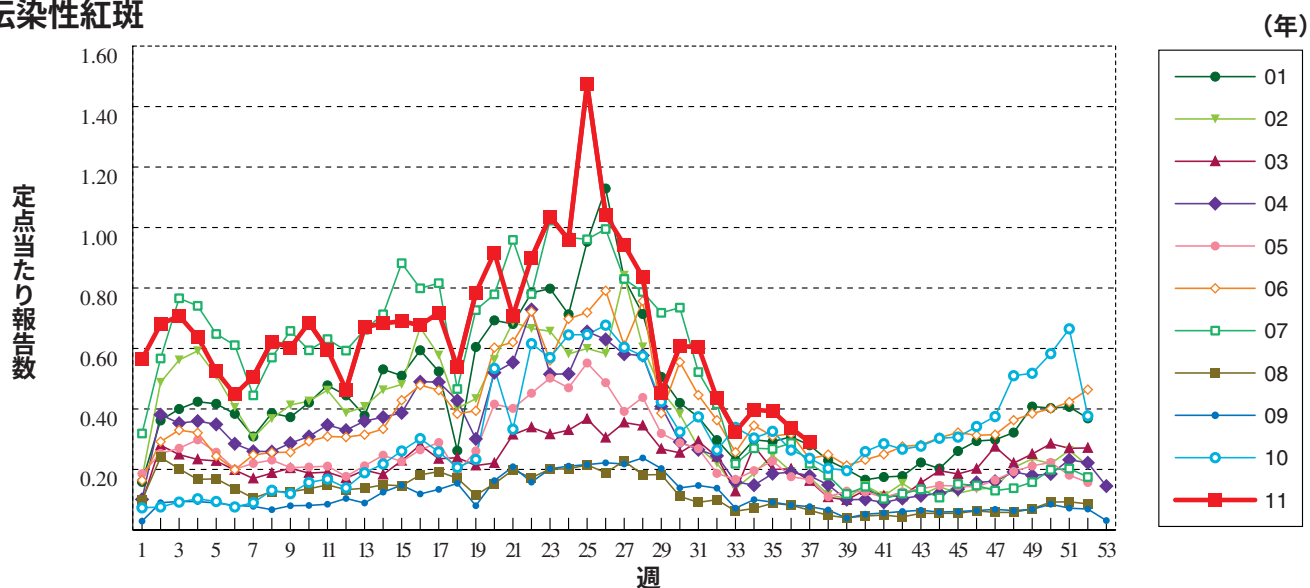
水痘



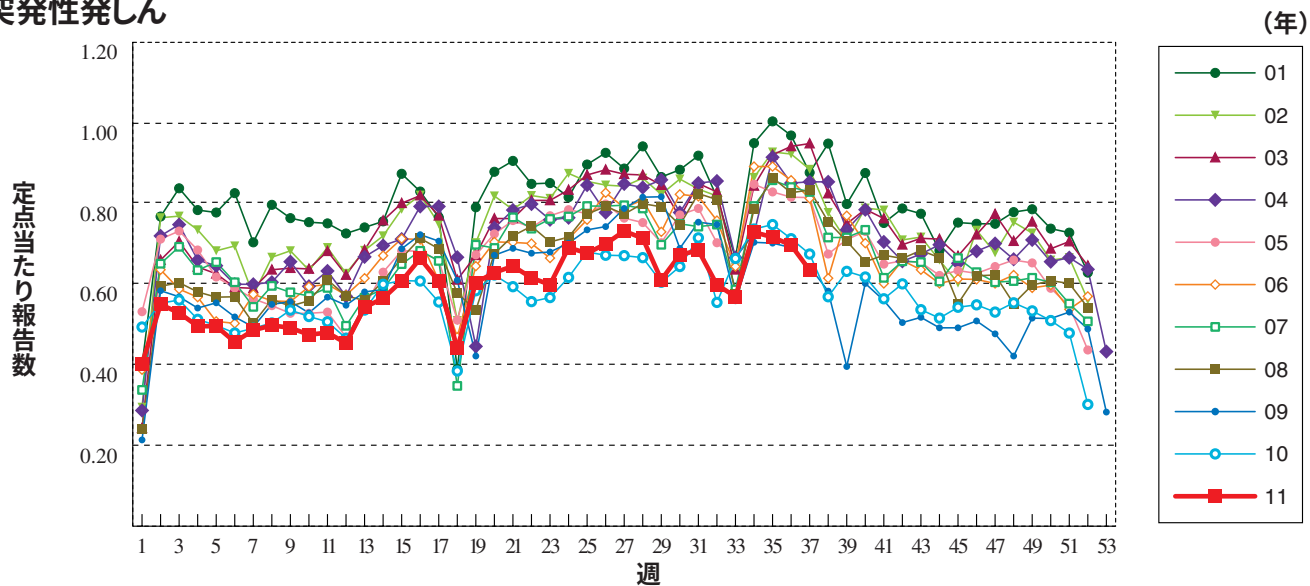
手足口病



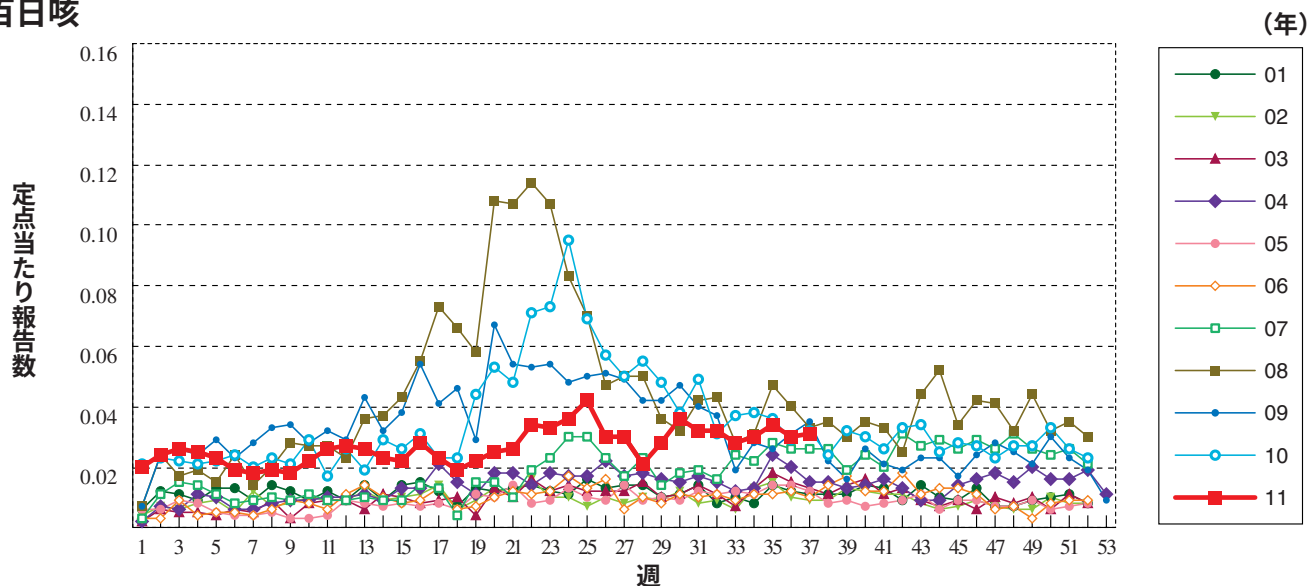
伝染性紅斑



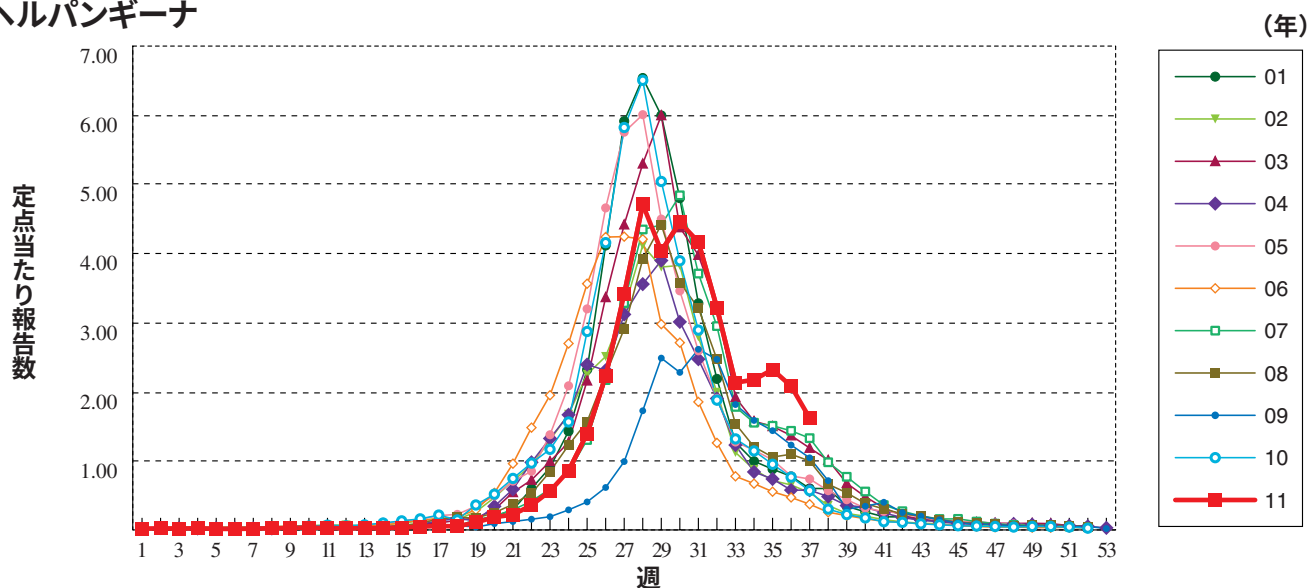
突発性発しん



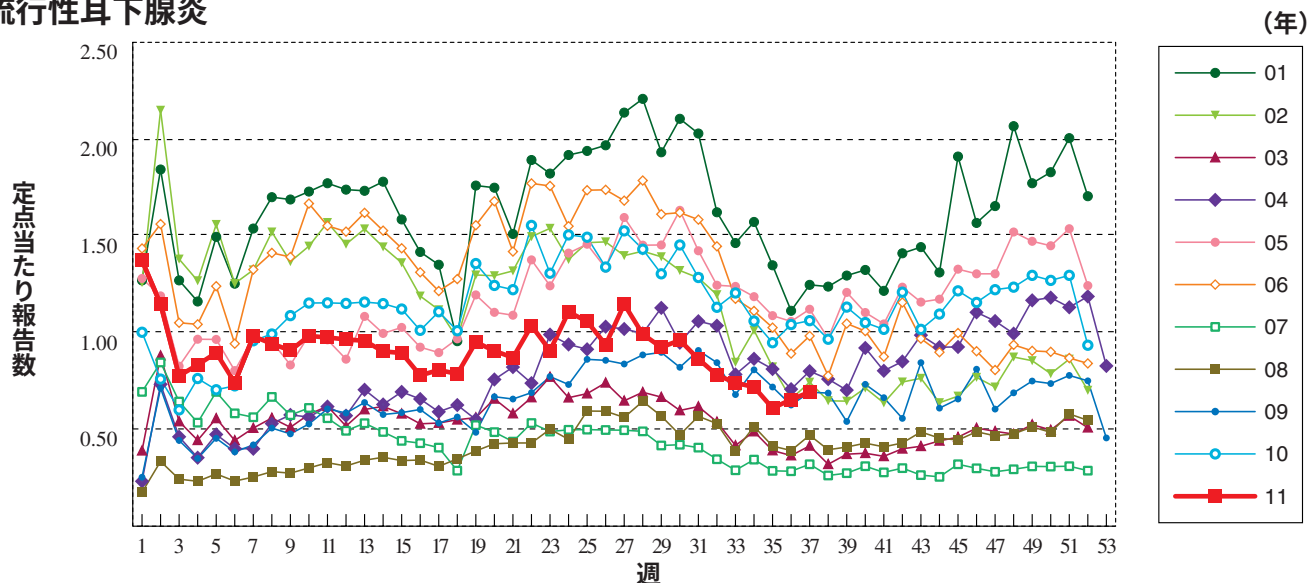
百日咳



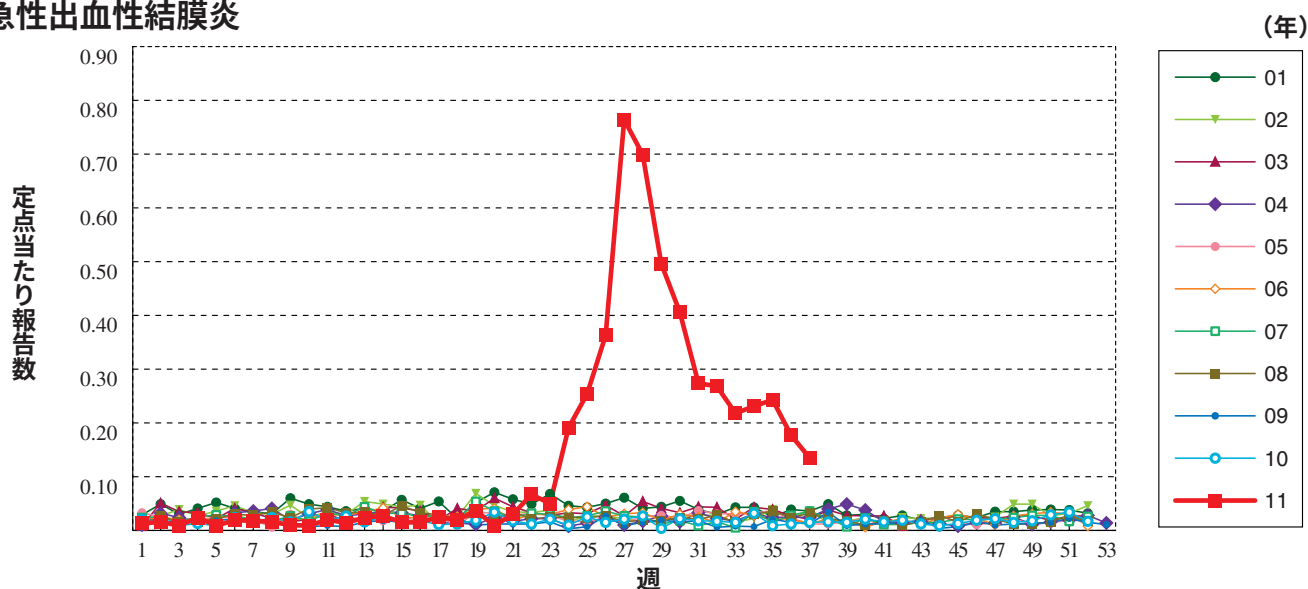
ヘルパンギーナ



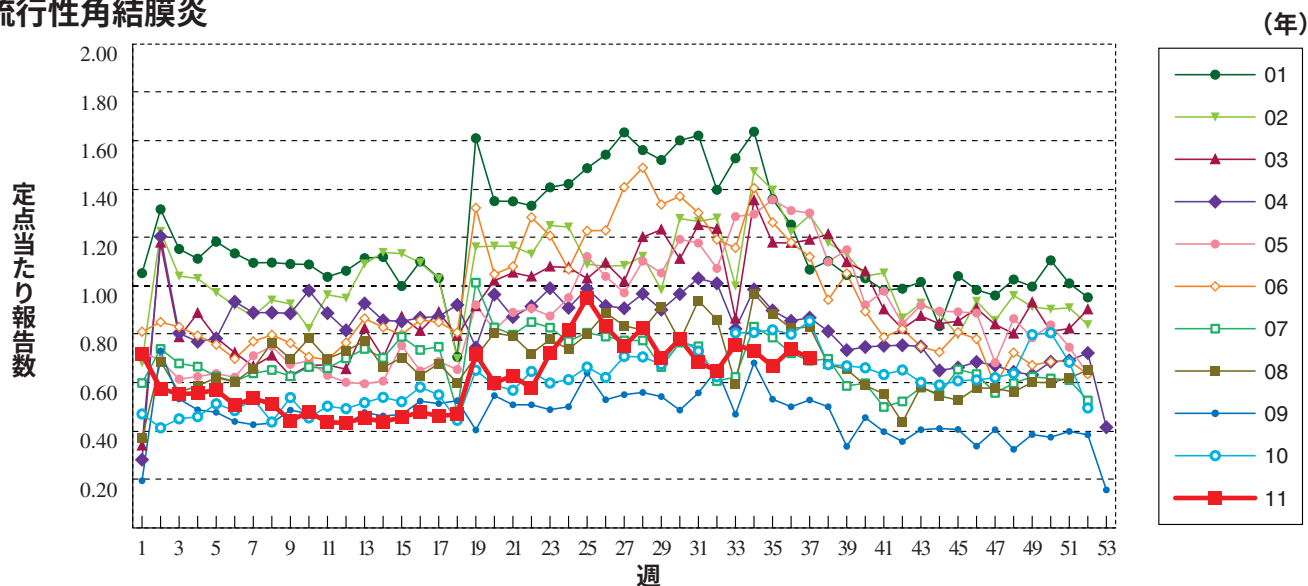
流行性耳下腺炎



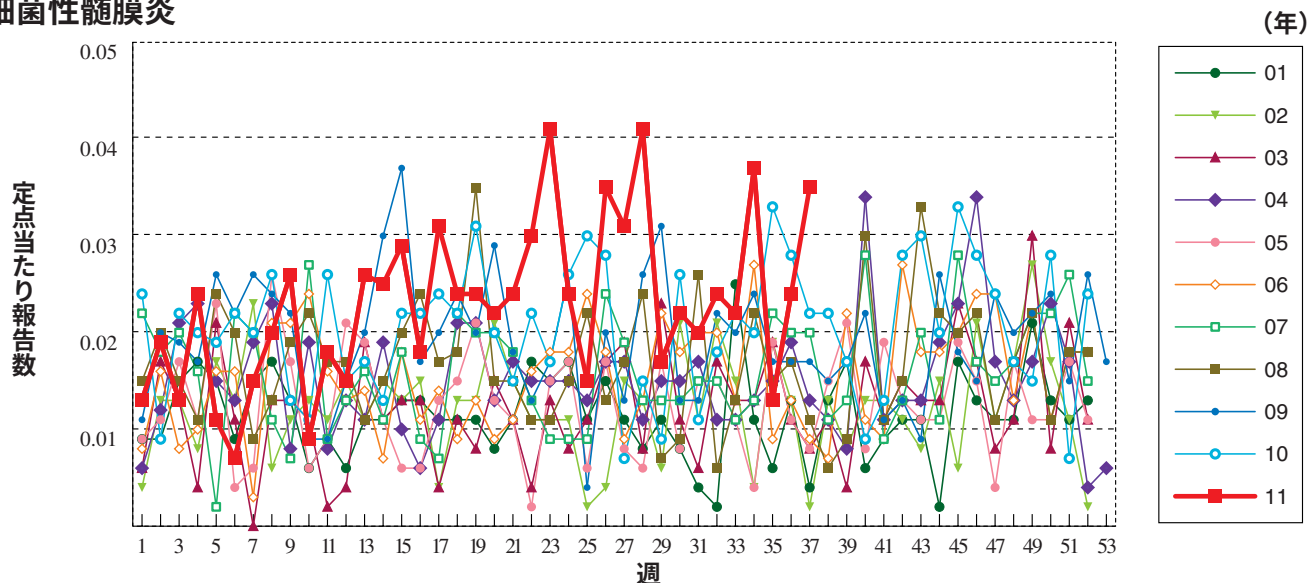
急性出血性結膜炎



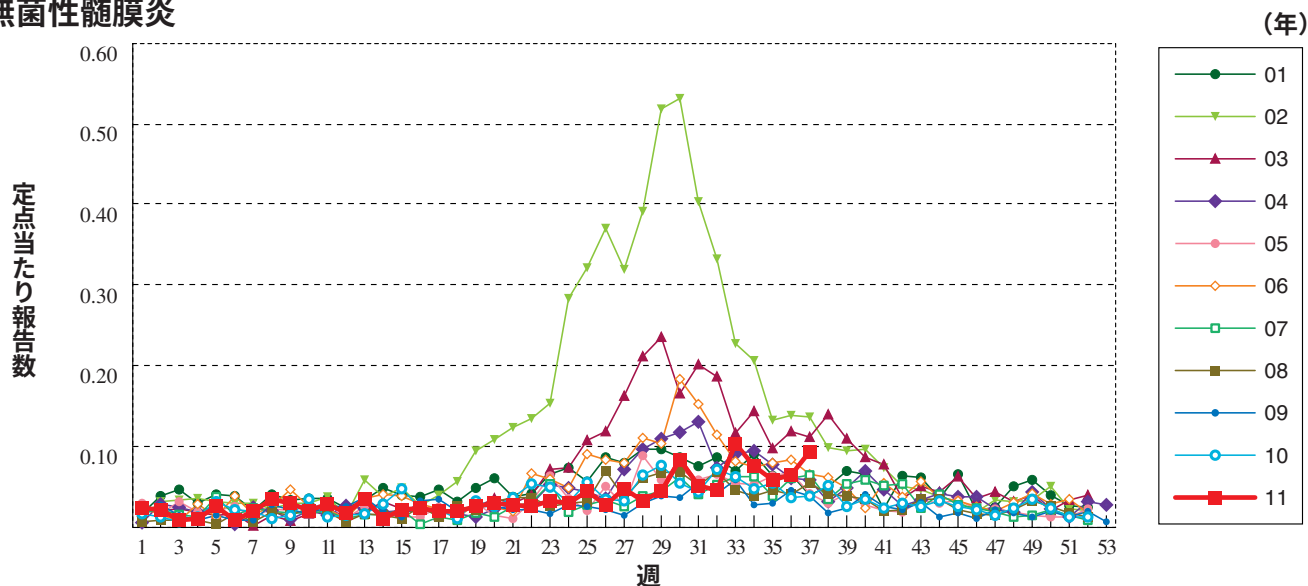
流行性角結膜炎



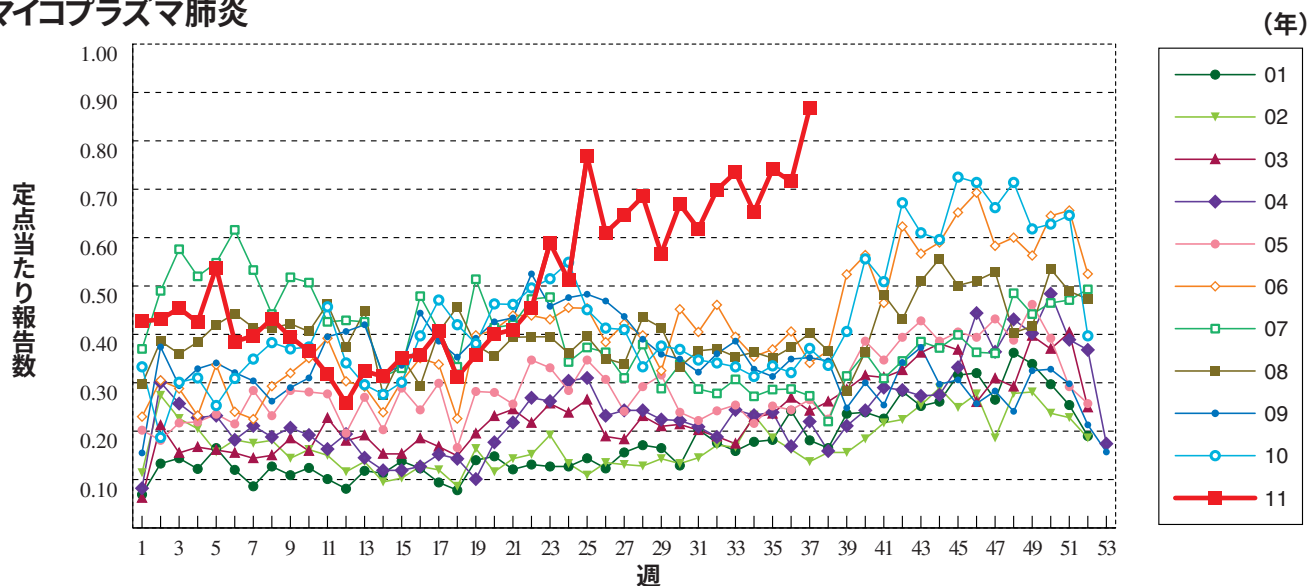
細菌性髄膜炎



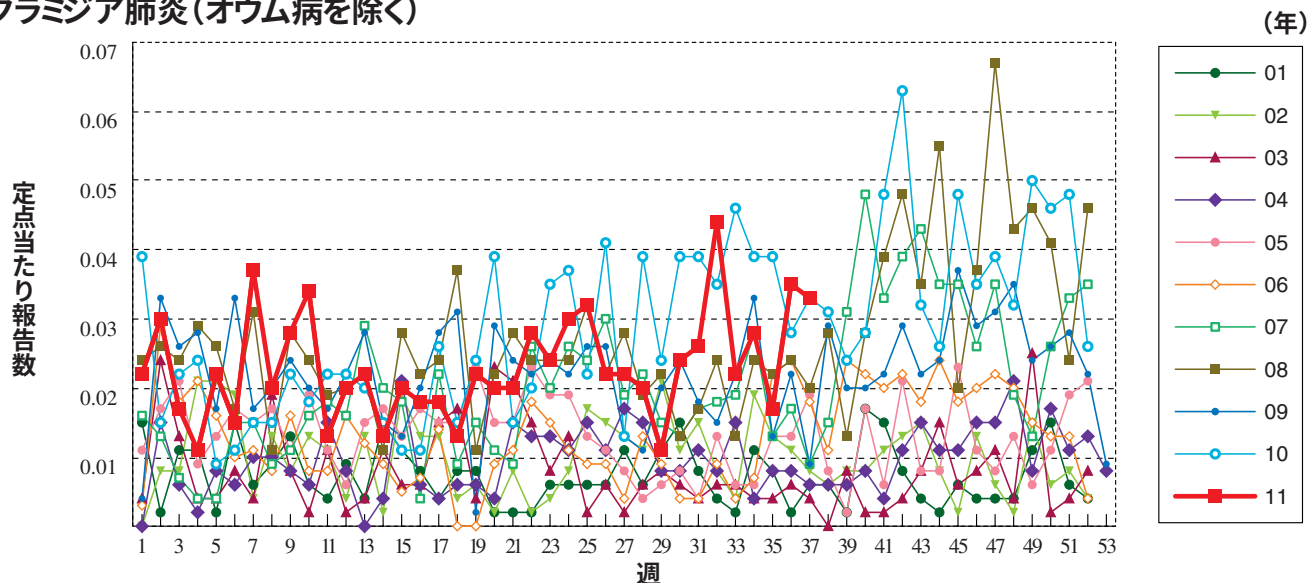
無菌性髄膜炎



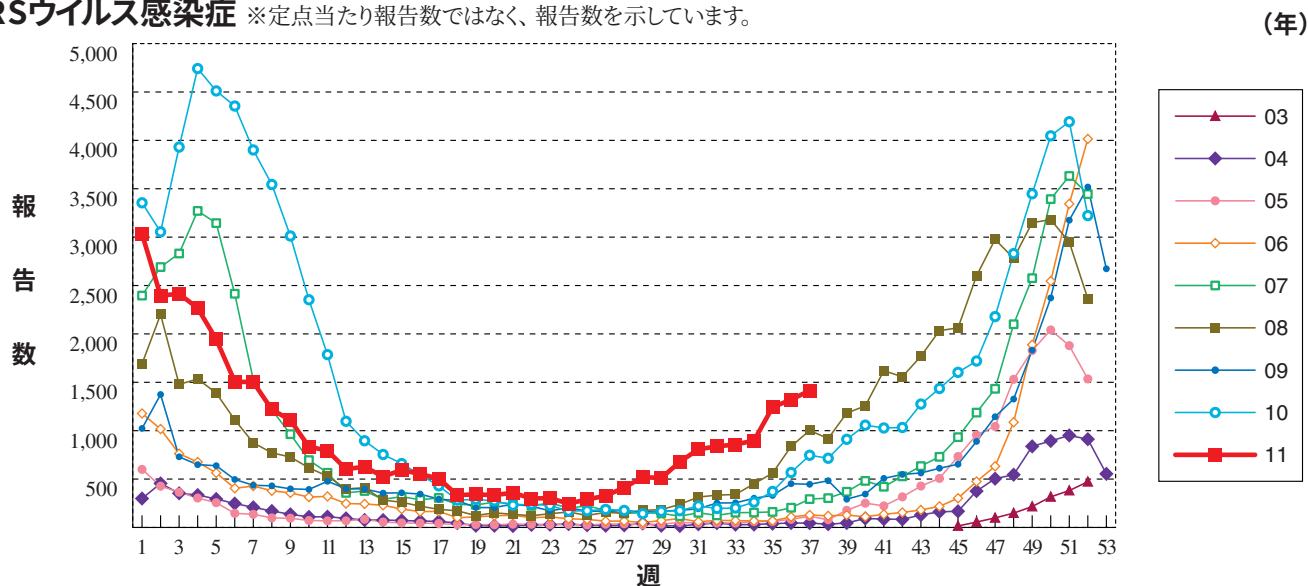
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



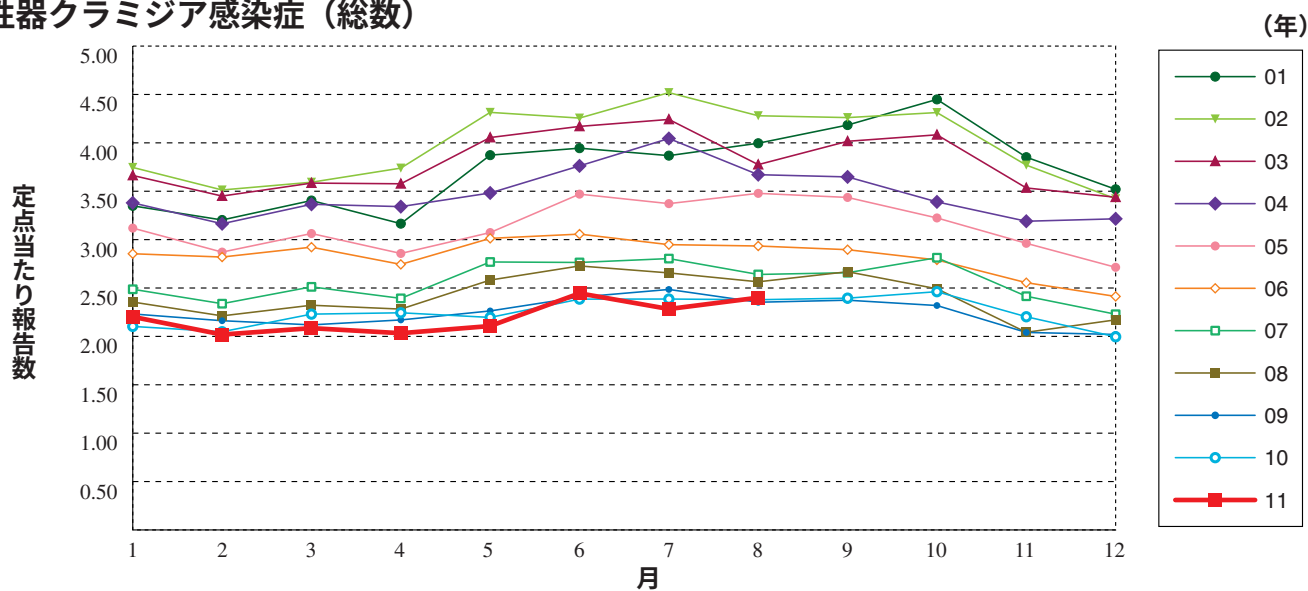
RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



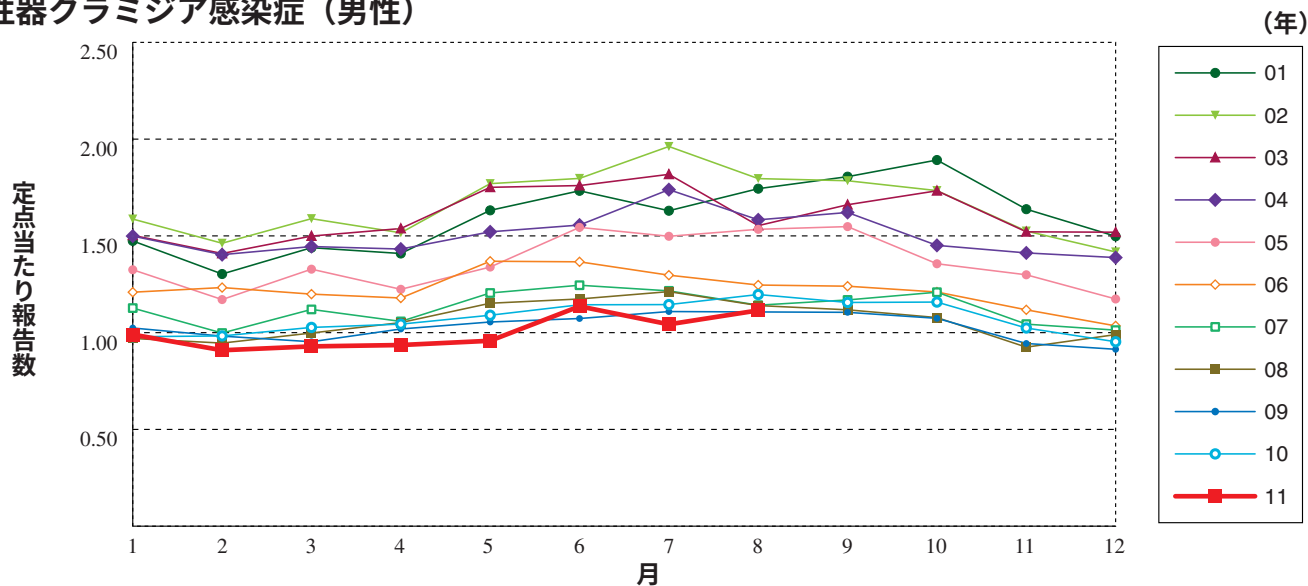


グラフ総覧(8月)

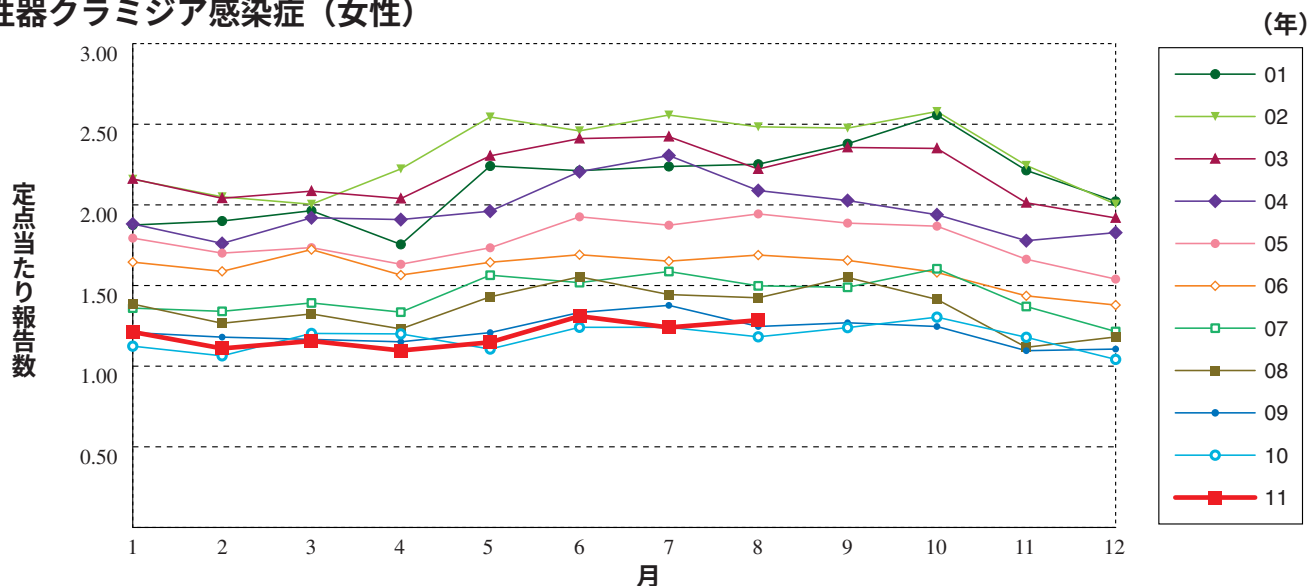
性器クラミジア感染症(総数)



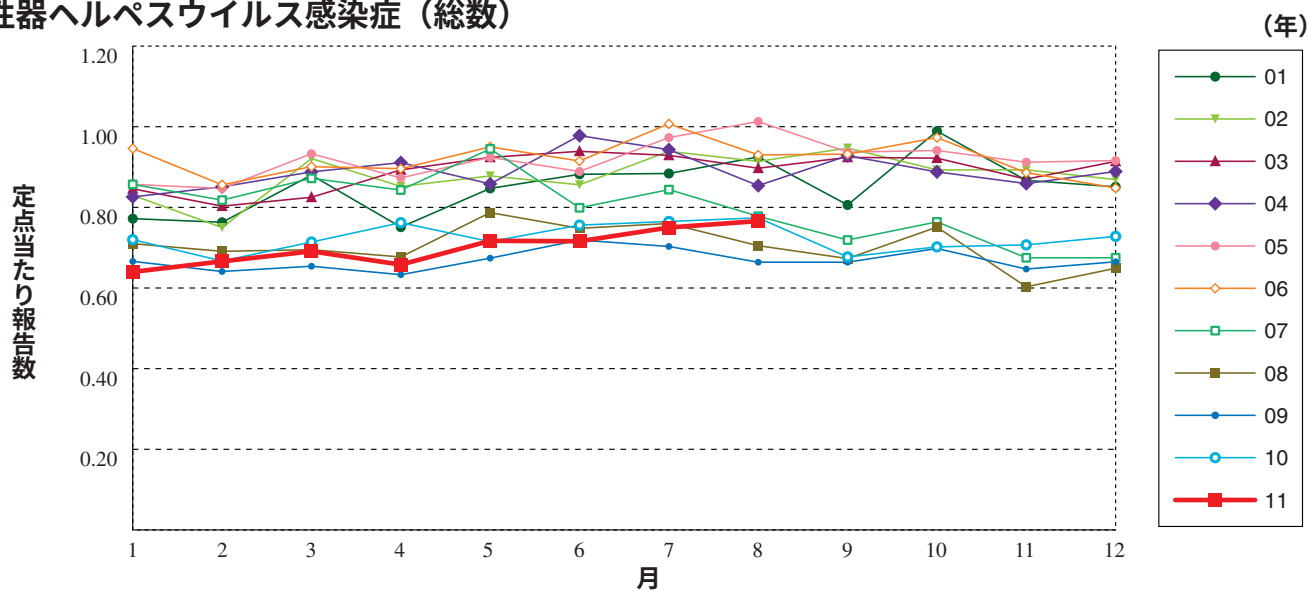
性器クラミジア感染症(男性)



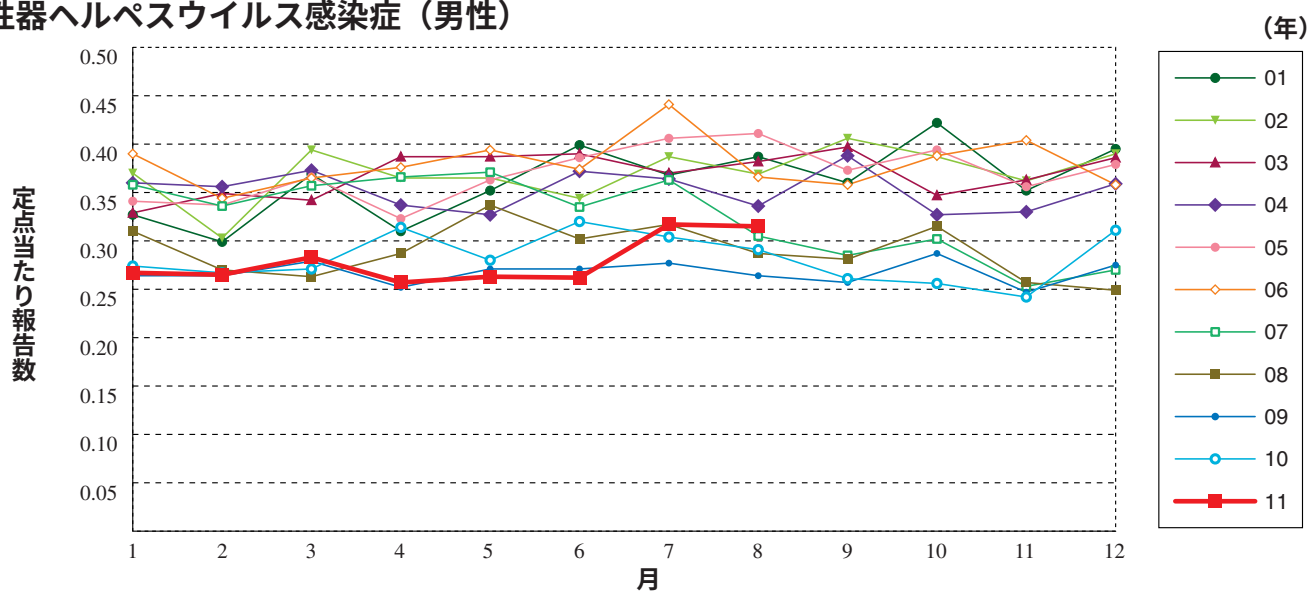
性器クラミジア感染症(女性)



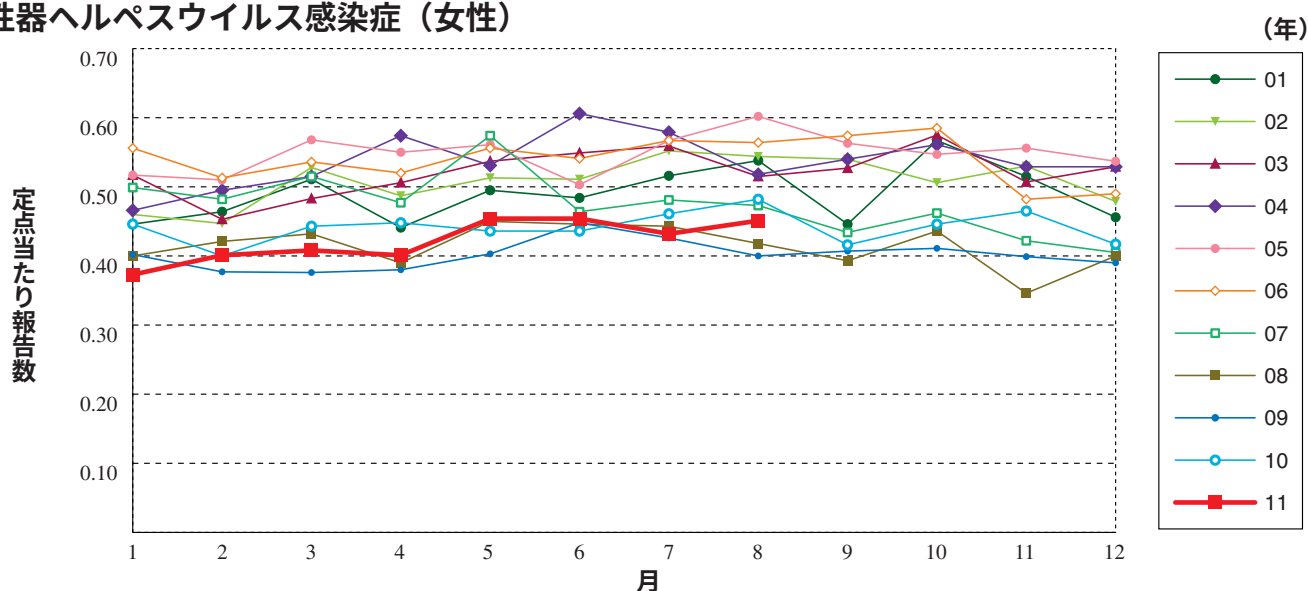
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



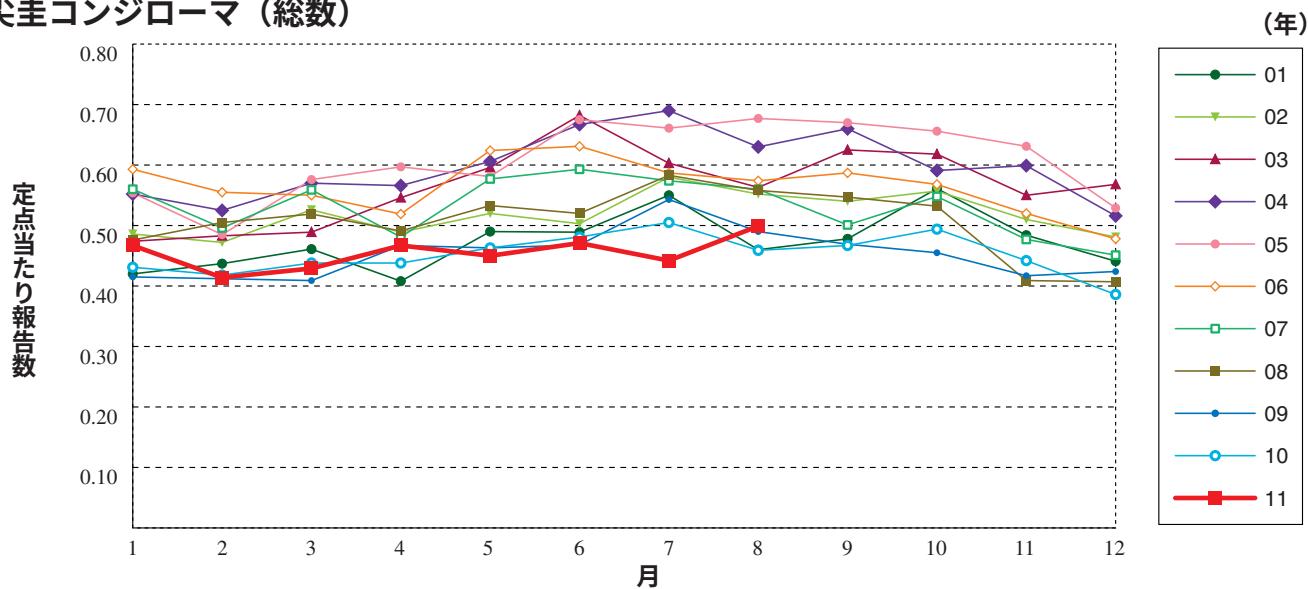
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



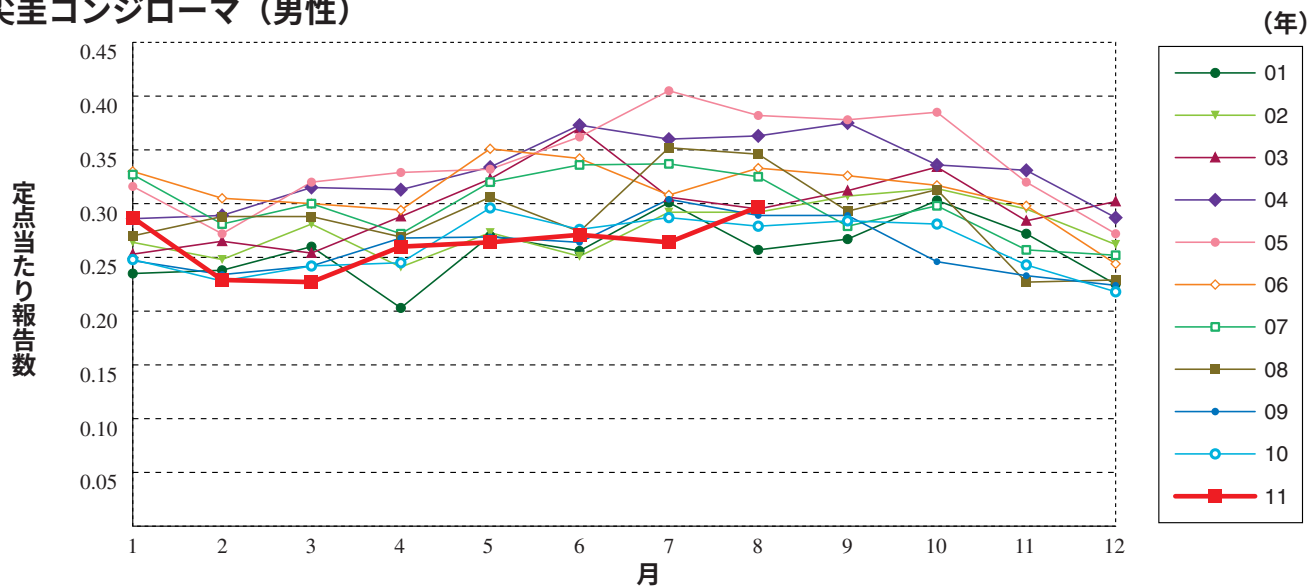
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



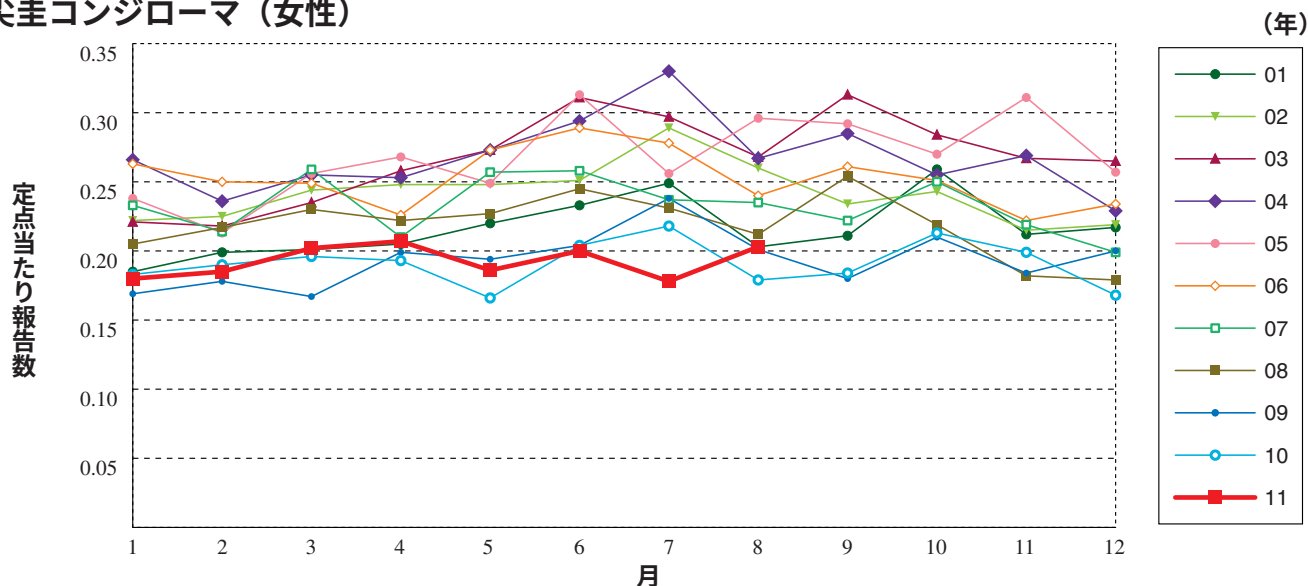
尖圭コンジローマ (総数)



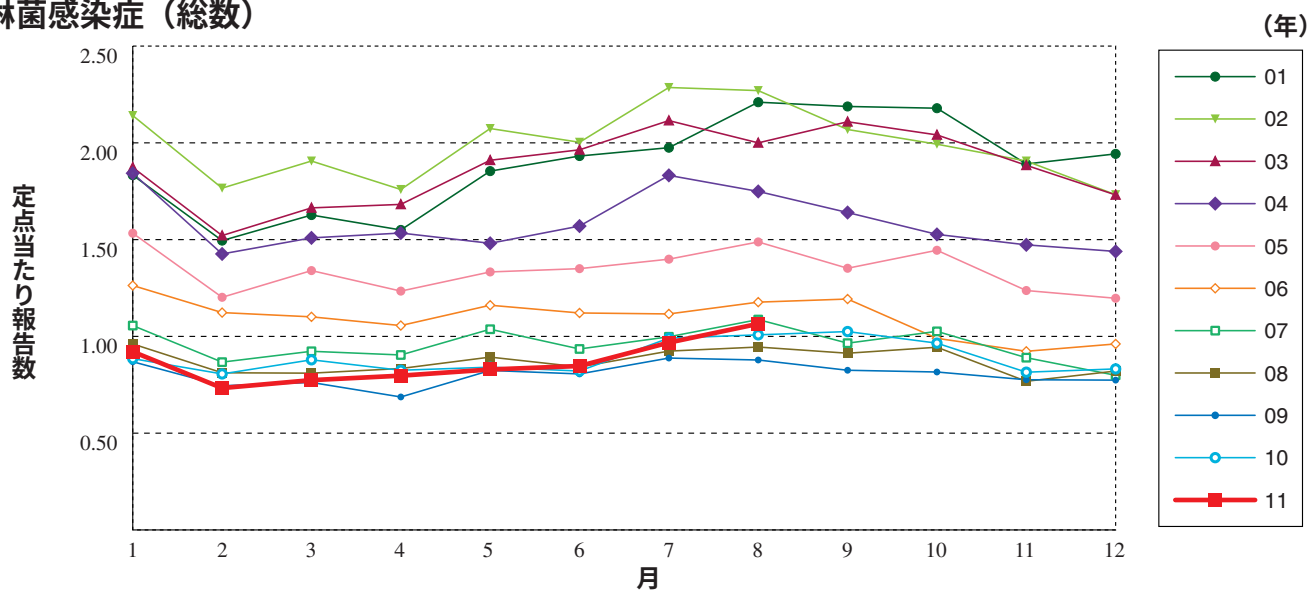
尖圭コンジローマ (男性)



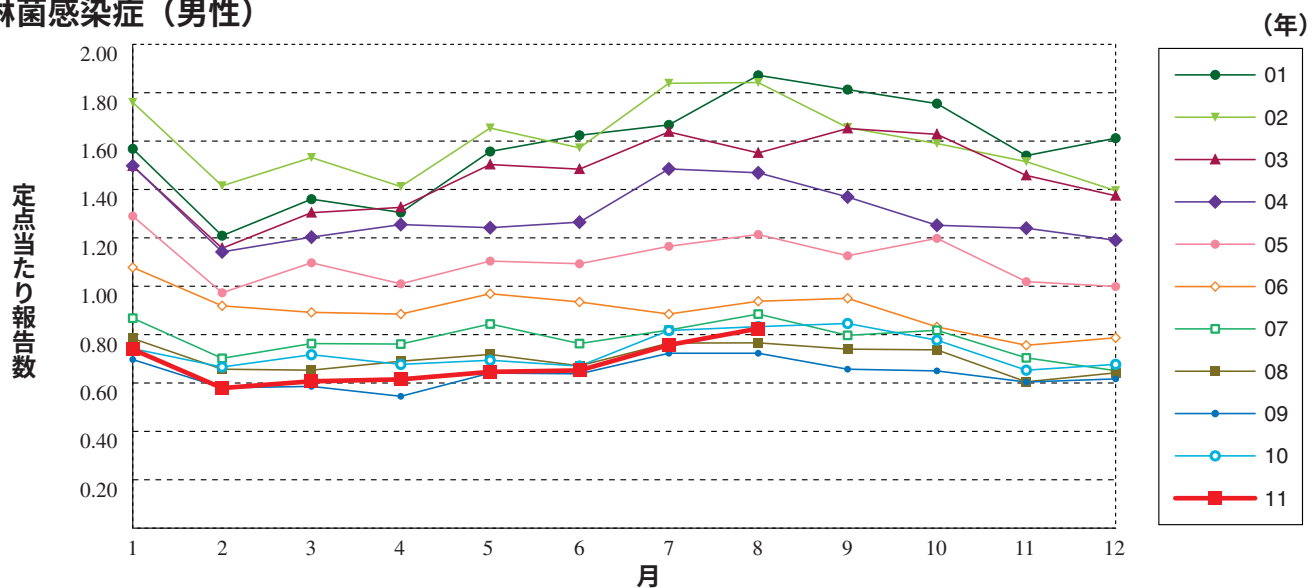
尖圭コンジローマ (女性)



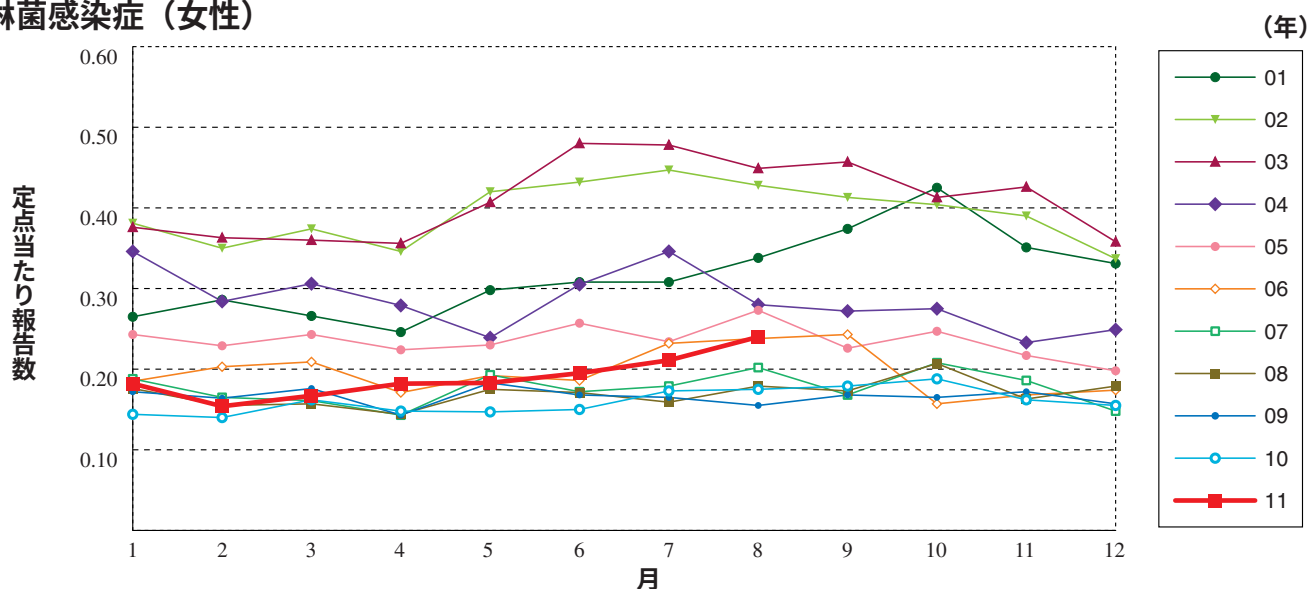
淋菌感染症 (総数)



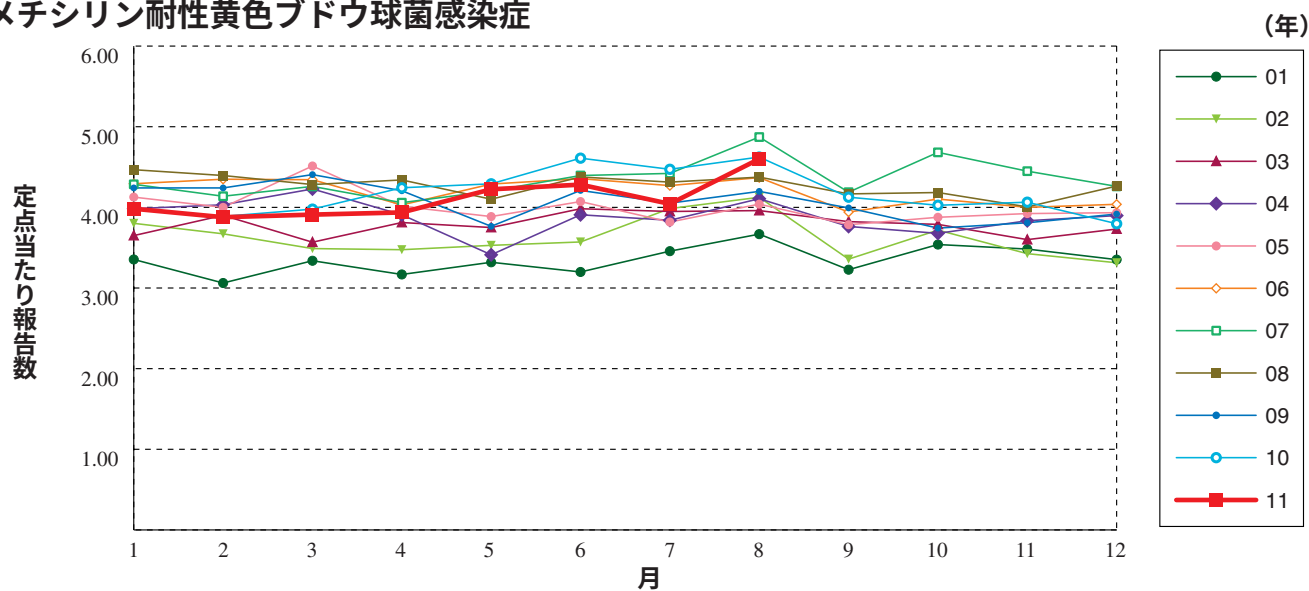
淋菌感染症 (男性)



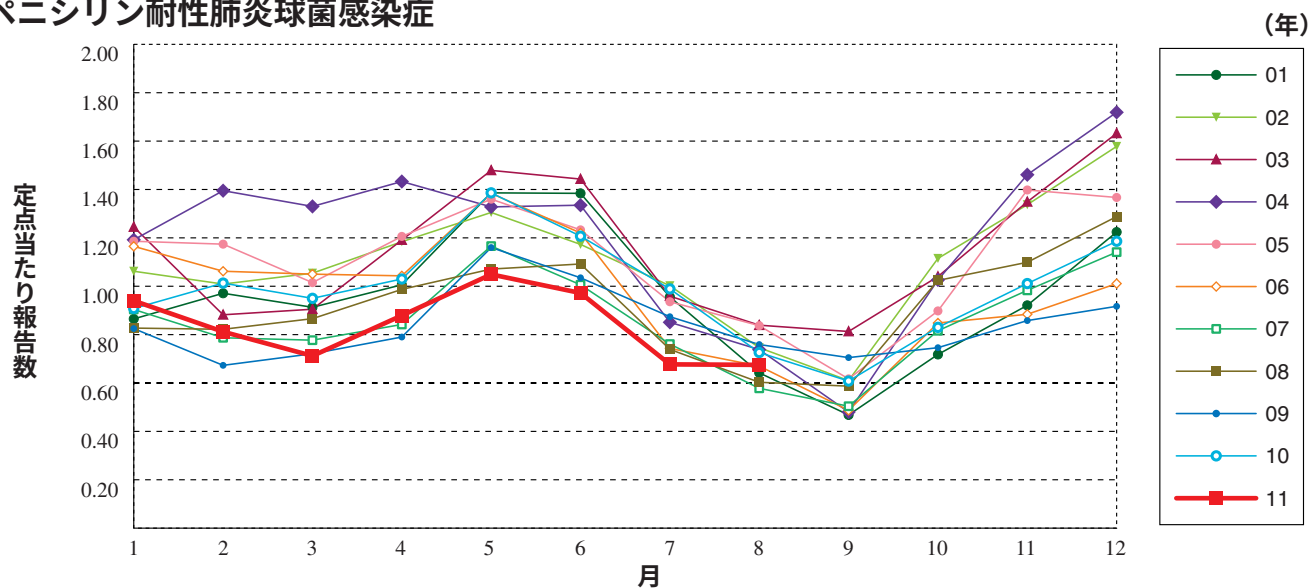
淋菌感染症 (女性)



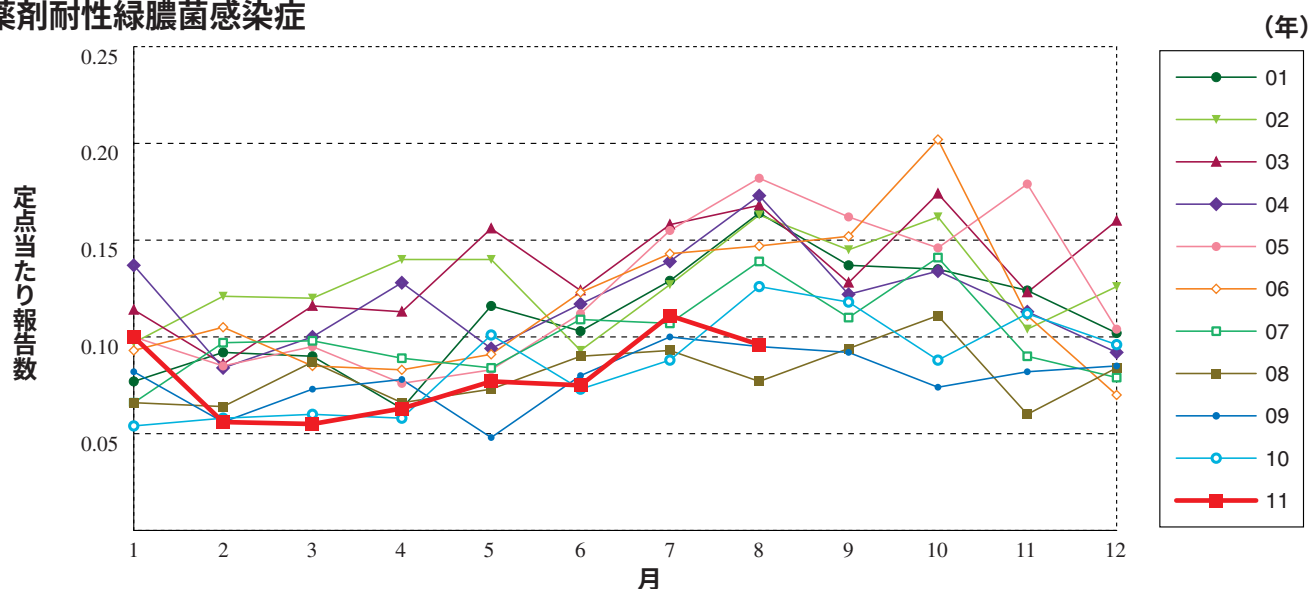
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

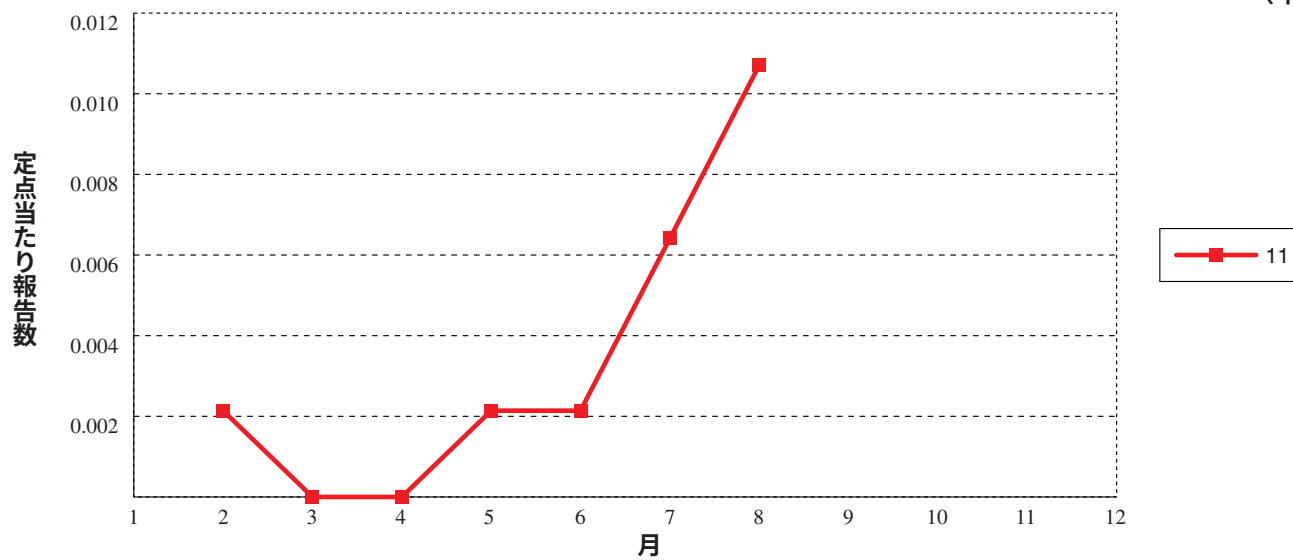


薬剤耐性緑膿菌感染症



薬剤耐性アシネトバクター感染症

(年)





8月のデータ

注) 9月13日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

2011年8月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネト バクター感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2321	2.40	741	0.77	483	0.50	1030	1.07	2148	4.60	315	0.67	45	0.10	5	0.01
北海道	180	4.29	37	0.88	18	0.43	44	1.05	79	3.43	8	0.35	2	0.09	-	-
青森県	43	3.31	8	0.62	3	0.23	7	0.54	12	2.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	40	2.67	6	0.40	17	1.13	27	1.80	54	2.84	18	0.95	2	0.11	-	-
宮城県	32	1.88	10	0.59	16	0.94	16	0.94	39	3.25	12	1.00	1	0.08	-	-
秋田県	19	1.36	9	0.64	10	0.71	6	0.43	52	6.50	8	1.00	2	0.25	-	-
山形県	25	2.50	6	0.60	5	0.50	8	0.80	42	4.67	10	1.11	-	-	-	-
福島県	47	2.76	15	0.88	8	0.47	44	2.59	56	8.00	1	0.14	2	0.29	-	-
茨城県	97	4.41	34	1.55	8	0.36	16	0.73	36	2.77	-	-	-	-	-	-
栃木県	29	1.71	6	0.35	15	0.88	24	1.41	33	4.71	13	1.86	1	0.14	-	-
群馬県	79	3.29	11	0.46	12	0.50	16	0.67	24	3.00	3	0.38	1	0.13	-	-
埼玉県	146	2.61	46	0.82	17	0.30	38	0.68	26	2.89	4	0.44	2	0.22	-	-
千葉県	92	2.24	33	0.80	16	0.39	33	0.80	33	3.67	26	2.89	-	-	-	-
東京都	244	4.44	110	2.00	76	1.38	111	2.02	130	5.20	44	1.76	3	0.12	-	-
神奈川県	87	1.53	23	0.40	18	0.32	45	0.79	43	4.30	2	0.20	1	0.10	-	-
新潟県	15	1.00	7	0.47	5	0.33	18	1.20	140	10.77	27	2.08	8	0.62	-	-
富山県	17	1.70	4	0.40	-	-	7	0.70	20	4.00	2	0.40	-	-	-	-
石川県	16	1.60	3	0.30	3	0.30	11	1.10	18	3.60	1	0.20	-	-	-	-
福井県	2	0.40	8	1.60	1	0.20	1	0.20	25	4.17	12	2.00	-	-	-	-
山梨県	8	0.89	5	0.56	1	0.11	1	0.11	11	1.10	-	-	2	0.20	-	-
長野県	21	1.40	3	0.20	6	0.40	4	0.27	31	2.82	8	0.73	-	-	-	-
岐阜県	15	1.00	9	0.60	13	0.87	17	1.13	24	4.80	-	-	-	-	-	-
静岡県	52	1.73	13	0.43	6	0.20	18	0.60	53	5.30	3	0.30	-	-	-	-
愛知県	132	2.06	54	0.84	38	0.59	65	1.02	145	9.67	10	0.67	-	-	4	0.27
三重県	12	0.80	5	0.33	6	0.40	7	0.47	57	6.33	-	-	3	0.33	1	0.11
滋賀県	6	0.67	2	0.22	2	0.22	4	0.44	84	12.00	1	0.14	-	-	-	-
京都府	39	1.70	16	0.70	2	0.09	11	0.48	13	1.86	-	-	-	-	-	-
大阪府	194	3.08	56	0.89	44	0.70	90	1.43	55	3.67	16	1.07	1	0.07	-	-
兵庫県	73	1.59	25	0.54	25	0.54	42	0.91	37	3.36	4	0.36	1	0.09	-	-
奈良県	10	1.11	3	0.33	2	0.22	1	0.11	40	6.67	6	1.00	1	0.17	-	-
和歌山県	20	2.50	8	1.00	4	0.50	16	2.00	34	3.09	3	0.27	-	-	-	-
鳥取県	43	6.14	14	2.00	10	1.43	20	2.86	37	7.40	3	0.60	-	-	-	-
島根県	7	1.17	1	0.17	4	0.67	16	2.67	24	3.00	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	32	1.88	17	1.00	6	0.35	27	1.59	12	2.40	-	-	-	-	-	-
広島県	51	2.22	15	0.65	17	0.74	38	1.65	124	5.90	19	0.90	3	0.14	-	-
山口県	24	2.00	13	1.08	3	0.25	8	0.67	60	6.67	15	1.67	-	-	-	-
徳島県	15	2.50	8	1.33	5	0.83	7	1.17	22	3.67	2	0.33	-	-	-	-
香川県	23	1.53	6	0.40	8	0.53	8	0.53	15	3.00	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	16	1.45	5	0.45	-	-	10	0.91	11	1.83	-	-	1	0.17	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	32	4.57	4	0.57	1	0.14	-	-
福岡県	110	2.97	31	0.84	12	0.32	65	1.76	58	3.87	8	0.53	1	0.07	-	-
佐賀県	21	3.00	4	0.57	-	-	12	1.71	12	2.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	13	1.30	5	0.50	1	0.10	12	1.20	44	4.00	5	0.45	1	0.09	-	-
熊本県	56	4.31	15	1.15	7	0.54	17	1.31	82	5.47	-	-	1	0.07	-	-
大分県	19	1.90	4	0.40	2	0.20	4	0.40	44	4.00	11	1.00	1	0.09	-	-
宮崎県	24	1.85	8	0.62	3	0.23	9	0.69	32	4.57	3	0.43	1	0.14	-	-
鹿児島県	36	2.25	12	0.75	5	0.31	25	1.56	16	1.33	-	-	2	0.17	-	-
沖縄県	39	3.25	8	0.67	3	0.25	4	0.33	77	11.00	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2011年8月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネト バクテリア感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1078	1.11	305	0.32	287	0.30	798	0.83	1325	2.84	183	0.39	24	0.05	2	0.00
北海道	39	0.93	7	0.17	11	0.26	22	0.52	52	2.26	5	0.22	2	0.09	-	-
青森県	11	0.85	3	0.23	2	0.15	6	0.46	9	1.50	-	-	-	-	-	-
岩手県	27	1.80	2	0.13	7	0.47	22	1.47	32	1.68	10	0.53	1	0.05	-	-
宮城県	13	0.76	4	0.24	8	0.47	12	0.71	27	2.25	7	0.58	1	0.08	-	-
秋田県	10	0.71	6	0.43	3	0.21	5	0.36	27	3.38	6	0.75	-	-	-	-
山形県	9	0.90	-	-	2	0.20	5	0.50	21	2.33	5	0.56	-	-	-	-
福島県	33	1.94	9	0.53	2	0.12	39	2.29	35	5.00	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	42	1.91	9	0.41	2	0.09	8	0.36	22	1.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	22	1.29	3	0.18	12	0.71	24	1.41	19	2.71	6	0.86	-	-	-	-
群馬県	50	2.08	1	0.04	6	0.25	14	0.58	13	1.63	2	0.25	1	0.13	-	-
埼玉県	62	1.11	10	0.18	10	0.18	26	0.46	12	1.33	2	0.22	2	0.22	-	-
千葉県	37	0.90	14	0.34	7	0.17	27	0.66	22	2.44	17	1.89	-	-	-	-
東京都	132	2.40	72	1.31	53	0.96	91	1.65	75	3.00	30	1.20	2	0.08	-	-
神奈川県	46	0.81	14	0.25	14	0.25	39	0.68	25	2.50	-	-	1	0.10	-	-
新潟県	9	0.60	6	0.40	4	0.27	18	1.20	93	7.15	10	0.77	4	0.31	-	-
富山県	6	0.60	-	-	-	-	7	0.70	14	2.80	1	0.20	-	-	-	-
石川県	8	0.80	1	0.10	2	0.20	9	0.90	15	3.00	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.20	3	0.60	1	0.20	1	0.20	19	3.17	5	0.83	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.11	6	0.60	-	-	-	-	-	-
長野県	6	0.40	1	0.07	3	0.20	3	0.20	17	1.55	4	0.36	-	-	-	-
岐阜県	11	0.73	7	0.47	11	0.73	15	1.00	14	2.80	-	-	-	-	-	-
静岡県	26	0.87	6	0.20	2	0.07	14	0.47	15	1.50	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	72	1.13	15	0.23	25	0.39	56	0.88	101	6.73	7	0.47	-	-	2	0.13
三重県	4	0.27	1	0.07	3	0.20	5	0.33	38	4.22	-	-	2	0.22	-	-
滋賀県	6	0.67	1	0.11	-	-	3	0.33	55	7.86	1	0.14	-	-	-	-
京都府	10	0.43	1	0.04	1	0.04	10	0.43	10	1.43	-	-	-	-	-	-
大阪府	64	1.02	27	0.43	22	0.35	55	0.87	32	2.13	10	0.67	1	0.07	-	-
兵庫県	39	0.85	8	0.17	20	0.43	33	0.72	26	2.36	3	0.27	-	-	-	-
奈良県	8	0.89	2	0.22	1	0.11	-	-	24	4.00	2	0.33	1	0.17	-	-
和歌山県	11	1.38	4	0.50	4	0.50	15	1.88	24	2.18	3	0.27	-	-	-	-
鳥取県	21	3.00	9	1.29	6	0.86	10	1.43	26	5.20	1	0.20	-	-	-	-
島根県	4	0.67	1	0.17	4	0.67	15	2.50	16	2.00	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	10	0.59	2	0.12	3	0.18	15	0.88	7	1.40	-	-	-	-	-	-
広島県	38	1.65	10	0.43	6	0.26	36	1.57	83	3.95	14	0.67	2	0.10	-	-
山口県	11	0.92	5	0.42	1	0.08	2	0.17	42	4.67	9	1.00	-	-	-	-
徳島県	11	1.83	4	0.67	3	0.50	7	1.17	14	2.33	1	0.17	-	-	-	-
香川県	5	0.33	4	0.27	7	0.47	6	0.40	8	1.60	-	-	-	-	-	-
愛媛県	14	1.27	2	0.18	-	-	10	0.91	7	1.17	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	22	3.14	3	0.43	-	-	-	-
福岡県	56	1.51	14	0.38	8	0.22	47	1.27	32	2.13	3	0.20	-	-	-	-
佐賀県	17	2.43	-	-	-	-	11	1.57	7	1.17	-	-	-	-	-	-
長崎県	9	0.90	2	0.20	1	0.10	12	1.20	21	1.91	4	0.36	-	-	-	-
熊本県	21	1.62	2	0.15	2	0.15	11	0.85	48	3.20	-	-	1	0.07	-	-
大分県	5	0.50	2	0.20	-	-	3	0.30	30	2.73	5	0.45	1	0.09	-	-
宮崎県	12	0.92	3	0.23	2	0.15	9	0.69	21	3.00	3	0.43	1	0.14	-	-
鹿児島県	19	1.19	6	0.38	4	0.25	17	1.06	10	0.83	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	11	0.92	2	0.17	2	0.17	2	0.17	37	5.29	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (女)

2011年8月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性アシネト バクテリア感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1243	1.29	436	0.45	196	0.20	232	0.24	823	1.76	132	0.28	21	0.04	3	0.01
北海道	141	3.36	30	0.71	7	0.17	22	0.52	27	1.17	3	0.13	-	-	-	-
青森県	32	2.46	5	0.38	1	0.08	1	0.08	3	0.50	-	-	-	-	-	-
岩手県	13	0.87	4	0.27	10	0.67	5	0.33	22	1.16	8	0.42	1	0.05	-	-
宮城県	19	1.12	6	0.35	8	0.47	4	0.24	12	1.00	5	0.42	-	-	-	-
秋田県	9	0.64	3	0.21	7	0.50	1	0.07	25	3.13	2	0.25	2	0.25	-	-
山形県	16	1.60	6	0.60	3	0.30	3	0.30	21	2.33	5	0.56	-	-	-	-
福島県	14	0.82	6	0.35	6	0.35	5	0.29	21	3.00	-	-	2	0.29	-	-
茨城県	55	2.50	25	1.14	6	0.27	8	0.36	14	1.08	-	-	-	-	-	-
栃木県	7	0.41	3	0.18	3	0.18	-	-	14	2.00	7	1.00	1	0.14	-	-
群馬県	29	1.21	10	0.42	6	0.25	2	0.08	11	1.38	1	0.13	-	-	-	-
埼玉県	84	1.50	36	0.64	7	0.13	12	0.21	14	1.56	2	0.22	-	-	-	-
千葉県	55	1.34	19	0.46	9	0.22	6	0.15	11	1.22	9	1.00	-	-	-	-
東京都	112	2.04	38	0.69	23	0.42	20	0.36	55	2.20	14	0.56	1	0.04	-	-
神奈川県	41	0.72	9	0.16	4	0.07	6	0.11	18	1.80	2	0.20	-	-	-	-
新潟県	6	0.40	1	0.07	1	0.07	-	-	47	3.62	17	1.31	4	0.31	-	-
富山県	11	1.10	4	0.40	-	-	-	-	6	1.20	1	0.20	-	-	-	-
石川県	8	0.80	2	0.20	1	0.10	2	0.20	3	0.60	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.20	5	1.00	-	-	-	-	6	1.00	7	1.17	-	-	-	-
山梨県	8	0.89	5	0.56	1	0.11	-	-	5	0.50	-	-	2	0.20	-	-
長野県	15	1.00	2	0.13	3	0.20	1	0.07	14	1.27	4	0.36	-	-	-	-
岐阜県	4	0.27	2	0.13	2	0.13	2	0.13	10	2.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	26	0.87	7	0.23	4	0.13	4	0.13	38	3.80	2	0.20	-	-	-	-
愛知県	60	0.94	39	0.61	13	0.20	9	0.14	44	2.93	3	0.20	-	-	2	0.13
三重県	8	0.53	4	0.27	3	0.20	2	0.13	19	2.11	-	-	1	0.11	1	0.11
滋賀県	-	-	1	0.11	2	0.22	1	0.11	29	4.14	-	-	-	-	-	-
京都府	29	1.26	15	0.65	1	0.04	1	0.04	3	0.43	-	-	-	-	-	-
大阪府	130	2.06	29	0.46	22	0.35	35	0.56	23	1.53	6	0.40	-	-	-	-
兵庫県	34	0.74	17	0.37	5	0.11	9	0.20	11	1.00	1	0.09	1	0.09	-	-
奈良県	2	0.22	1	0.11	1	0.11	1	0.11	16	2.67	4	0.67	-	-	-	-
和歌山県	9	1.13	4	0.50	-	-	1	0.13	10	0.91	-	-	-	-	-	-
鳥取県	22	3.14	5	0.71	4	0.57	10	1.43	11	2.20	2	0.40	-	-	-	-
島根県	3	0.50	-	-	-	-	1	0.17	8	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	22	1.29	15	0.88	3	0.18	12	0.71	5	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	13	0.57	5	0.22	11	0.48	2	0.09	41	1.95	5	0.24	1	0.05	-	-
山口県	13	1.08	8	0.67	2	0.17	6	0.50	18	2.00	6	0.67	-	-	-	-
徳島県	4	0.67	4	0.67	2	0.33	-	-	8	1.33	1	0.17	-	-	-	-
香川県	18	1.20	2	0.13	1	0.07	2	0.13	7	1.40	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	2	0.18	3	0.27	-	-	-	-	4	0.67	-	-	1	0.17	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1.43	1	0.14	1	0.14	-	-
福岡県	54	1.46	17	0.46	4	0.11	18	0.49	26	1.73	5	0.33	1	0.07	-	-
佐賀県	4	0.57	4	0.57	-	-	1	0.14	5	0.83	-	-	-	-	-	-
長崎県	4	0.40	3	0.30	-	-	-	-	23	2.09	1	0.09	1	0.09	-	-
熊本県	35	2.69	13	1.00	5	0.38	6	0.46	34	2.27	-	-	-	-	-	-
大分県	14	1.40	2	0.20	2	0.20	1	0.10	14	1.27	6	0.55	-	-	-	-
宮崎県	12	0.92	5	0.38	1	0.08	-	-	11	1.57	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	17	1.06	6	0.38	1	0.06	8	0.50	6	0.50	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	28	2.33	6	0.50	1	0.08	2	0.17	40	5.71	-	-	-	-	-	-



37週のデータ

注) 表中の報告数は9月21日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年37週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	364	21507	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	696	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	301	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	123	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	249	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	168	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	215	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	223	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	509	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	250	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	154	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1074	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	1048	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	64	3361	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	1535	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	276	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	165	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	192	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	129	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	276	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	407	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	506	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	1452	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	243	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	230	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	507	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1001	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	802	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	223	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	342	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	164	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	357	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	593	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	239	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	174	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	135	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	212	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	130	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	892	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	276	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	273	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	286	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	209	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	201	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	271	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	238	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	8	13	205	81	3059	-	15	-	19	1	45
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	82	-	-	-	-	1	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	22	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	116	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	12	95	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	19	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	293	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	7	37	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	34	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	61	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	35	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	8	101	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	12	4	141	-	-	-	2	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	50	6	209	-	3	-	9	-	7	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	3	2	19	4	95	-	-	-	2	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	50	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	182	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	47	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	26	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	67	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	59	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	1	56	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	4	90	-	1	-	2	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	27	-	-	-	2	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	64	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	70	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	2	7	2	163	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	95	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	52	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	55	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1	115	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	66	-	2	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	47	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	69	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	35	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	151	-	13	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	23	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	狂 犬 病		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 痘		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	166
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	68	-	-	-	-	-	-	2	99	1	4	-	-	-	-	-	-
北海道	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	14	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	8	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	48	-	-	-	6	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	3	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年37週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	22	532	-	12	-	-	10	577	1	179	1	197	-	7
北海道	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	10	-	3	-	5	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	6	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	9	-	2	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	1	-	9	-	-
群馬県	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	1	7	-	2	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	1	29	-	7	1	13	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	1	42	-	5	-	16	-	-
東京都	-	-	-	-	3	51	-	3	-	-	2	123	1	29	-	13	-	2
神奈川県	-	-	-	1	5	42	-	-	-	-	2	49	-	10	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	1	1	22	-	-	-	-	-	8	-	2	-	12	-	-
富山県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	4	-	4	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	3	-	6	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	17	-	-	-	11	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	2	27	-	7	-	11	-	-
三重県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	7	-	5	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	16	-	7	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	46	-	1	-	-	-	57	-	13	-	15	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	22	-	12	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	10	-	7	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	9	-	12	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	4	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	19	-	9	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	9	-	2	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	91	2	156	14	1022	1	47	-	7	-	1	9	541	2	82	-	-
北海道	-	6	-	5	-	18	-	-	-	-	-	-	-	16	-	5	-	-
青森県	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	7	-	6	-	-
秋田県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福島県	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	4	-	3	-	18	-	2	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	1	11	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
埼玉県	1	5	1	5	-	29	-	3	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-
千葉県	-	5	-	6	1	40	-	1	-	1	-	-	-	15	-	1	-	-
東京都	-	13	-	26	6	272	-	8	-	2	-	-	5	161	-	6	-	-
神奈川県	-	1	-	8	2	60	1	5	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-
新潟県	-	4	-	7	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
石川県	-	1	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福井県	-	-	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	5	1	12	-	1	-	-	-	-	-	6	1	3	-	-
岐阜県	-	1	-	2	-	17	-	2	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
静岡県	-	2	-	5	-	18	-	3	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	10	-	70	-	3	-	-	-	-	1	33	1	4	-	-
三重県	-	2	-	2	-	10	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-
京都府	1	4	-	3	-	10	-	2	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
大阪府	1	7	-	10	-	166	-	2	-	-	-	-	1	51	-	1	-	-
兵庫県	-	2	-	3	-	36	-	4	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	1	-	10	-	2	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-
広島県	-	2	-	3	-	20	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-
山口県	-	1	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
香川県	-	2	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	6	-	18	-	37	-	-	-	1	-	-	-	27	-	2	-	-
佐賀県	-	2	-	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-
大分県	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1	1	10	-	-	-	2	-	-	-	7	-	7	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	14	-	3	-	-
沖縄県	-	1	-	3	-	13	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	42	2	316	3	397
北海道	-	1	-	18	-	9
青森県	-	1	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	1	-	1	-	1
山形県	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	9	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	9
群馬県	-	1	-	-	-	5
埼玉県	-	1	-	6	-	27
千葉県	-	4	-	7	-	25
東京都	-	1	-	26	1	164
神奈川県	-	8	-	60	-	36
新潟県	-	-	-	5	-	1
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	1	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	1	-	1	-	1
岐阜県	-	1	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	4	-	8
愛知県	-	-	-	11	-	27
三重県	-	1	-	5	-	1
滋賀県	-	-	-	2	-	2
京都府	-	1	-	1	-	2
大阪府	-	7	-	46	-	10
兵庫県	1	2	-	7	-	12
奈良県	-	-	-	1	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	4
広島県	-	1	1	13	-	24
山口県	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	1	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	63	1	6
佐賀県	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	3
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	1	2	-	2
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	91	0.02	816	0.26	2232	0.72	8393	2.69	1447	0.46	11208	3.60	903	0.29	1978	0.63	97	0.03
北海道	2	0.01	57	0.40	210	1.47	177	1.24	38	0.27	692	4.84	37	0.26	78	0.55	5	0.03
青森県	-	-	2	0.05	16	0.38	32	0.76	14	0.33	419	9.98	4	0.10	15	0.36	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	26	0.65	62	1.55	13	0.33	330	8.25	14	0.35	11	0.28	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	34	0.58	178	3.02	21	0.36	606	10.27	4	0.07	35	0.59	-	-
秋田県	-	-	5	0.14	17	0.49	71	2.03	11	0.31	402	11.49	4	0.11	12	0.34	1	0.03
山形県	-	-	4	0.13	32	1.07	99	3.30	17	0.57	224	7.47	10	0.33	30	1.00	-	-
福島県	-	-	11	0.23	27	0.56	72	1.50	21	0.44	266	5.54	30	0.63	33	0.69	1	0.02
茨城県	6	0.05	7	0.09	36	0.48	141	1.88	29	0.39	162	2.16	3	0.04	33	0.44	1	0.01
栃木県	-	-	7	0.15	18	0.38	61	1.27	7	0.15	122	2.54	13	0.27	35	0.73	-	-
群馬県	1	0.01	28	0.46	30	0.49	190	3.11	19	0.31	279	4.57	17	0.28	28	0.46	-	-
埼玉県	-	-	29	0.19	137	0.88	486	3.12	63	0.40	595	3.81	42	0.27	113	0.72	5	0.03
千葉県	1	0.01	25	0.20	106	0.85	317	2.56	48	0.39	486	3.92	16	0.13	80	0.65	9	0.07
東京都	10	0.02	71	0.28	182	0.71	877	3.43	112	0.44	1056	4.13	44	0.17	194	0.76	1	0.00
神奈川県	-	-	23	0.12	89	0.46	419	2.16	76	0.39	800	4.12	51	0.26	164	0.85	5	0.03
新潟県	-	-	32	0.53	43	0.72	73	1.22	25	0.42	189	3.15	8	0.13	46	0.77	14	0.23
富山県	-	-	6	0.21	37	1.28	104	3.59	12	0.41	159	5.48	1	0.03	11	0.38	-	-
石川県	-	-	3	0.10	30	1.03	70	2.41	16	0.55	101	3.48	7	0.24	9	0.31	1	0.03
福井県	-	-	14	0.64	31	1.41	114	5.18	35	1.59	23	1.05	2	0.09	12	0.55	-	-
山梨県	-	-	9	0.38	20	0.83	51	2.13	2	0.08	71	2.96	7	0.29	5	0.21	-	-
長野県	-	-	27	0.50	53	0.98	126	2.33	10	0.19	256	4.74	44	0.81	27	0.50	-	-
岐阜県	-	-	15	0.28	11	0.21	123	2.32	9	0.17	156	2.94	22	0.42	23	0.43	1	0.02
静岡県	-	-	46	0.55	71	0.85	250	2.98	27	0.32	342	4.07	27	0.32	62	0.74	2	0.02
愛知県	4	0.02	23	0.13	86	0.48	490	2.74	95	0.53	732	4.09	124	0.69	106	0.59	10	0.06
三重県	-	-	26	0.58	17	0.38	126	2.80	26	0.58	110	2.44	10	0.22	34	0.76	-	-
滋賀県	-	-	3	0.09	18	0.56	82	2.56	15	0.47	101	3.16	5	0.16	14	0.44	-	-
京都府	-	-	17	0.24	23	0.32	142	1.97	26	0.36	118	1.64	12	0.17	24	0.33	-	-
大阪府	4	0.01	35	0.18	151	0.77	543	2.77	88	0.45	272	1.39	68	0.35	103	0.53	7	0.04
兵庫県	4	0.02	34	0.27	69	0.54	350	2.73	65	0.51	211	1.65	29	0.23	73	0.57	6	0.05
奈良県	-	-	11	0.31	16	0.46	41	1.17	13	0.37	50	1.43	4	0.11	18	0.51	-	-
和歌山県	-	-	7	0.23	12	0.39	46	1.48	11	0.35	49	1.58	11	0.35	22	0.71	1	0.03
鳥取県	-	-	4	0.21	20	1.05	57	3.00	7	0.37	39	2.05	5	0.26	11	0.58	-	-
島根県	-	-	5	0.22	8	0.35	100	4.35	25	1.09	166	7.22	11	0.48	14	0.61	-	-
岡山県	1	0.01	20	0.37	18	0.33	190	3.52	24	0.44	67	1.24	3	0.06	21	0.39	-	-
広島県	-	-	29	0.41	61	0.86	202	2.85	49	0.69	258	3.63	28	0.39	36	0.51	4	0.06
山口県	-	-	18	0.38	64	1.33	172	3.58	32	0.67	198	4.13	23	0.48	47	0.98	-	-
徳島県	-	-	6	0.26	19	0.83	64	2.78	17	0.74	19	0.83	21	0.91	22	0.96	-	-
香川県	-	-	12	0.40	3	0.10	85	2.83	4	0.13	32	1.07	13	0.43	25	0.83	4	0.13
愛媛県	19	0.31	18	0.49	20	0.54	150	4.05	28	0.76	143	3.86	22	0.59	36	0.97	1	0.03
高知県	-	-	20	0.67	13	0.43	36	1.20	12	0.40	136	4.53	12	0.40	17	0.57	1	0.03
福岡県	1	0.01	56	0.47	137	1.14	442	3.68	55	0.46	93	0.78	10	0.08	102	0.85	6	0.05
佐賀県	-	-	6	0.26	17	0.74	22	0.96	11	0.48	10	0.43	4	0.17	22	0.96	1	0.04
長崎県	-	-	7	0.16	31	0.70	110	2.50	51	1.16	79	1.80	4	0.09	20	0.45	-	-
熊本県	-	-	9	0.19	31	0.65	216	4.50	19	0.40	142	2.96	6	0.13	35	0.73	-	-
大分県	-	-	2	0.06	38	1.06	175	4.86	31	0.86	107	2.97	12	0.33	35	0.97	-	-
宮崎県	-	-	12	0.33	37	1.03	165	4.58	46	1.28	95	2.64	31	0.86	39	1.08	1	0.03
鹿児島県	-	-	9	0.16	54	0.98	222	4.04	57	1.04	196	3.56	14	0.25	35	0.64	3	0.05
沖縄県	38	0.66	4	0.12	13	0.38	72	2.12	15	0.44	49	1.44	14	0.41	11	0.32	6	0.18

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年37週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	5042	1.62	2160	0.69	91	0.13	474	0.70	16	0.03	43	0.09	397	0.87	15	0.03	1414
北海道	446	3.12	40	0.28	1	0.03	12	0.41	-	-	-	-	10	0.43	-	-	40
青森県	152	3.62	51	1.21	-	-	8	0.73	-	-	3	0.50	22	3.67	-	-	17
岩手県	68	1.70	45	1.13	1	0.07	11	0.79	-	-	1	0.05	23	1.21	-	-	8
宮城県	144	2.44	50	0.85	-	-	3	0.25	-	-	-	-	16	1.33	-	-	11
秋田県	130	3.71	4	0.11	1	0.14	4	0.57	-	-	2	0.25	4	0.50	-	-	6
山形県	306	10.20	24	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.30	1	0.10	-
福島県	203	4.23	19	0.40	-	-	12	1.00	-	-	-	-	20	2.86	1	0.14	26
茨城県	79	1.05	45	0.60	1	0.06	27	1.59	-	-	1	0.08	2	0.15	-	-	11
栃木県	21	0.44	23	0.48	-	-	3	0.25	4	0.57	3	0.43	11	1.57	2	0.29	19
群馬県	182	2.98	53	0.87	-	-	16	1.07	-	-	-	-	11	1.38	-	-	8
埼玉県	292	1.87	51	0.33	-	-	25	0.64	2	0.22	3	0.33	26	2.89	1	0.11	17
千葉県	191	1.54	42	0.34	-	-	26	0.81	-	-	1	0.11	5	0.56	3	0.33	22
東京都	502	1.96	65	0.25	-	-	21	0.57	1	0.04	5	0.20	34	1.36	-	-	126
神奈川県	285	1.47	52	0.27	1	0.02	41	0.93	-	-	1	0.14	2	0.29	-	-	26
新潟県	254	4.23	119	1.98	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	3	0.25	3	0.25	35
富山県	82	2.83	6	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2.40	-	-	4
石川県	23	0.79	23	0.79	-	-	2	0.29	1	0.20	-	-	4	0.80	-	-	10
福井県	73	3.32	1	0.05	-	-	1	0.33	2	0.33	1	0.17	6	1.00	-	-	19
山梨県	21	0.88	18	0.75	-	-	5	0.56	-	-	-	-	1	0.10	2	0.20	-
長野県	224	4.15	91	1.69	-	-	12	1.09	-	-	-	-	9	0.82	-	-	2
岐阜県	21	0.40	10	0.19	-	-	4	0.36	-	-	-	-	3	0.60	-	-	9
静岡県	180	2.14	66	0.79	-	-	28	1.40	-	-	3	0.33	4	0.44	-	-	24
愛知県	97	0.54	59	0.33	-	-	13	0.39	-	-	1	0.07	32	2.29	-	-	50
三重県	32	0.71	35	0.78	1	0.08	5	0.42	1	0.11	-	-	-	-	-	-	20
滋賀県	31	0.97	17	0.53	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	0.57	-	-	24
京都府	36	0.50	46	0.64	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	12
大阪府	78	0.40	107	0.55	-	-	9	0.18	-	-	-	-	28	1.87	-	-	205
兵庫県	73	0.57	115	0.90	-	-	14	0.40	1	0.11	4	0.44	3	0.33	1	0.11	24
奈良県	9	0.26	9	0.26	-	-	3	0.33	-	-	-	-	2	0.33	-	-	14
和歌山県	15	0.48	15	0.48	-	-	-	-	1	0.09	-	-	4	0.36	-	-	18
鳥取県	17	0.89	32	1.68	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	14
島根県	34	1.48	16	0.70	-	-	-	-	2	0.25	4	0.50	3	0.38	-	-	2
岡山県	35	0.65	86	1.59	-	-	11	0.92	-	-	-	-	7	1.40	-	-	17
広島県	74	1.04	39	0.55	-	-	29	1.53	-	-	1	0.05	9	0.43	-	-	30
山口県	56	1.17	37	0.77	-	-	3	0.33	-	-	2	0.22	7	0.78	-	-	38
徳島県	10	0.43	18	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	29
香川県	76	2.53	39	1.30	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.20	-	-	69
愛媛県	110	2.97	103	2.78	-	-	8	1.00	-	-	-	-	9	1.50	-	-	28
高知県	18	0.60	6	0.20	-	-	1	0.33	1	0.14	-	-	7	1.00	-	-	6
福岡県	108	0.90	141	1.18	1	0.04	18	0.69	-	-	1	0.07	5	0.33	-	-	100
佐賀県	27	1.17	32	1.39	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67	-	-	16
長崎県	24	0.55	14	0.32	-	-	8	1.00	-	-	2	0.20	13	1.30	-	-	18
熊本県	62	1.29	75	1.56	1	0.11	20	2.22	-	-	2	0.13	2	0.13	-	-	26
大分県	62	1.72	20	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.55	-	-	5
宮崎県	53	1.47	79	2.19	-	-	1	0.17	-	-	-	-	1	0.14	-	-	160
鹿児島県	19	0.35	102	1.85	-	-	4	0.57	-	-	2	0.17	4	0.33	-	-	38
沖縄県	7	0.21	20	0.59	82	8.20	48	4.80	-	-	-	-	12	1.71	1	0.14	11

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年37週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	-	15	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年37週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第37号 2011年9月30日発行

発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。